

ふくやま子育て夢プラン

福山市次世代育成支援対策推進行動計画

【後期行動計画】

年次報告書

《2010年度(平成22年度)》

2011年(平成23年)5月

福山市

— みんなで創る 子育てNo.1 ONLY1のまち ふくやま —

目 次

総 括	1 頁
具体的な事業の実績値の報告	2 頁
福山市行動計画における目標値などの 変更について	5 頁
具体的な事業の実施状況報告書（継続事業）	6 頁
2011 年度（平成 23 年度）新規事業	5 1 頁

後期行動計画の計画期間

2010 年度（平成 22 年度）



2014 年度（平成 26 年度）

ふくやま子育て夢プラン

基本理念

みんなで創る 子育てNo. 1 ONLY1のまち ふくやま

基本目標

みんなで創る 新しい生命に出会い 育てる幸せを実感できるまち
 みんなで創る 子どもが希望をもって いきいきと育つ喜びのあるまち
 みんなで創る 心と心で支えあう やさしさあふれる子育てのまち

基本方針

5

基本施策

22

前期行動計画

2005年度（計画策定時）

【個別事業数】 86（重複を除く）

うち数値目標設定事業 17
 （40指標）

2009年度（計画最終年度）

【個別事業数】 126（重複を除く）

うち数値目標設定事業 22
 （43指標）

後期行動計画

2010年度（計画策定時）

【個別事業数】 126（重複を除く）

うち数値目標設定事業 22
 （49指標）

2010年度実績

【個別事業数】 126（重複を除く）

うち数値目標設定事業 22
 （49指標）

2010年度（平成22年度）実施状況 総括

- 本市では、2005年度（平成17年度）に、「みんなで創る 子育てNO. 1 ONLY1のまち ふくやま」を基本理念とした前期行動計画を策定し、子育て家庭の支援や、子どもが健やかに育つことのできる環境づくりに努めてきた。
 5年間の期間を経て、前期行動計画における多様な子育て支援策は一定の成果を見たものとして、この計画の基本的な考え方を踏襲し、引き続く5年間の指標となる後期行動計画を、2009年度（平成21年度）に策定した。
- 後期行動計画の初年度となる2010年度（平成22年度）においては、「地域における教育力の向上」として「福山市立大学の設置・検討準備」、 「障がい児施策の充実」として「（仮称）こども発達支援センターの整備基本計画の策定」などの新規事業を含め、126の事業に取り組み、おおむね着実に実施されている。
- 今後の事業展開にあたっては、社会情勢や国の動向、地域のニーズ、市の財政状況等を総合的に勘案し、必要に応じて目標数値の見直し等も行う中で、本計画の基本理念の実現に向けた事業の展開に努めるとともに、効果的かつ効率的に市民への情報提供を行い、家庭や地域、行政等が一体となった子育て支援の充実に努める。

2010年度（平成22年度）目標値設定事業の実績値の報告

コード / 事業	指標	後期計画 現状値	実績値	後期計画 目標値
基本方針1 安心できる母子保健の推進				
1-1-1 子育て支援ボランティア事業 キラキラサポーター(子育て支援ボランティア) の登録と養成/市保健師と連携し、家庭訪問	子育て支援ボランティア の配置	2008年度 70小学校区 (78小学校区中)	2010年度 72小学校区 (78小学校区中)	2012年度 すべての小学校区
1-1-4 訪問指導/すこやか育児サポート事業 対象は妊産婦や満1歳までの育児不安のある 人や家族/小児科医の保健指導や市保健師の 家庭訪問	妊娠・出産に満足して いる人	2007年度 79.6%	(※1)	2012年度 100%
	妊婦の喫煙率	2007年度 12.9%	(※1)	2012年度 0%
1-1-5 こんには赤ちゃん訪問事業 保健師、育児家庭訪問員、キラキラサポーター (子育て支援ボランティア)が訪問	生後4ヵ月までの乳児の いる家庭への訪問率	2008年度 49.6%	2010年度 88.1%	100%
1-2-1 乳幼児の事故防止 乳幼児健康相談や乳幼児健康診査などで啓 発	4歳までの不慮の事故 死亡率(人口10万人対)	2007年度 9.1(2件)	(2009年) 4.7(1件)	2012年度 0.0(0件)
1-2-2 食生活改善推進事業 子どもに望ましい食生活を身につける啓発	朝食を欠食する習慣のある 児童(1歳6ヵ月児)	2007年度 5.7%	(※1)	2012年度 0.0%
	朝食を欠食する習慣のある 児童(3歳児)	2007年度 9.9%	(※1)	2012年度 0.0%
	朝食を欠食する習慣のある 児童(5歳児)	2007年度 7.4%	(※1)	2012年度 0.0%
	朝食を欠食する習慣のある 児童(小学3年生)	2007年度 4.7%	(※1)	2012年度 0.0%
	朝食を欠食する習慣のある 児童(小学6年生)	2007年度 11.9%	(※1)	2012年度 0.0%
	朝食を欠食する習慣のある 児童(中学2年生)	2007年度 20.1%	(※1)	2012年度 0.0%
	朝食を欠食する習慣のある 児童(高校2年生)	2007年度 23.0%	(※1)	2012年度 0.0%
	講演会などの開催回数	2008年度 各小学校2回	2010年度 各小学校1.4回	各小学校2回 (中学校1回)
1-2-4 乳幼児健康相談 保健師、栄養士、歯科衛生士による健康相談	夜10時までに寝る児童 (1歳6ヵ月児)	2007年度 68.0%	(※1)	2012年度 80.0%以上
	夜10時までに寝る児童 (3歳児)	2007年度 61.1%	(※1)	2012年度 80.0%以上
	夜10時までに寝る児童 (5歳児)	2007年度 58.3%	(※1)	2012年度 90.0%以上
	夜10時までに寝る児童 (小学3年生)	2007年度 47.4%	(※1)	2012年度 90.0%以上
1-2-6 乳児一般健康診査 4ヵ月児健康診査 1歳6ヵ月児健康診査 3歳児健康診査 個別健康診査(乳児一般と4ヵ月児)、集団健康 診査(1歳6ヵ月児と3歳児)	1歳6ヵ月児健康診査受診率	2008年度 91.9%	2010年度 92.8%	2012年度 95.0%以上
	3歳児健康診査受診率	2008年度 89.9%	2010年度 91.1%	2012年度 90.0%以上
1-2-7 予防接種 子どもの疾病予防のため、予防接種の勧奨及 び情報提供	B C G 予防接種率の向上 (生後6ヵ月までの乳児)	2008年度 96.9%	2010年度 98.8%	2012年度 95.0%以上
	麻疹の予防接種率の向上 (1歳6ヵ月までの児童)	2008年度 90.6%	2010年度 92.3%	2012年度 90.0%以上

(※1) 「健康ふくやま21」次回アンケート調査時に把握予定

2010年度（平成22年度）目標値設定事業の実績値の報告

コード / 事業	指標	後期計画 現状値	実績値	後期計画 目標値
1-2-8 思春期の保健対策 小中学生の喫煙・飲酒防止教育の実施/性や 性感染症に関する正しい知識の普及・啓発	未成年者の喫煙率 (中学2年生)	2007年度 2.5%	(※1)	2012年度 0.0%
	未成年者の喫煙率 (高校2年生)	2007年度 5.0%	(※1)	2012年度 0.0%
	未成年者の飲酒割合 (最近1カ月内の飲酒経験が あるとした者の飲酒頻度) (中学2年生)	2007年度 毎日 1.7%	(※1)	2012年度 毎日 0.0%
		2007年度 週に3日以上 12.1%	(※1)	2012年度 週に3日以上 0.0%
		2007年度 週に1日程度 22.4%	(※1)	2012年度 週に1日程度 0.0%
	未成年者の飲酒割合 (最近1カ月内の飲酒経験が あるとした者の飲酒頻度) (高校2年生)	2007年度 毎日 1.1%	(※1)	2012年度 毎日 0.0%
		2007年度 週に3日以上 11.5%	(※1)	2012年度 週に3日以上 0.0%
		2007年度 週に1日程度 20.7%	(※1)	2012年度 週に1日程度 0.0%
	ストレスを感じる人の割合 (小学6年生)	2007年度 44.2%	(※1)	2012年度 38.0%
	ストレスを感じる人の割合 (中学2年生)	2007年度 61.3%	(※1)	2012年度 46.0%
ストレスを感じる人の割合 (高校2年生)	2007年度 73.7%	(※1)	2012年度 49.0%	
1-2-9 学校の無煙化の推進 喫煙防止教育の実施/敷地内全面禁煙の定着	小中学校の無煙化の推進	2007年度 全校実施	2010年度 全校実施	継続 全校実施
基本方針2 子育て家庭に対する支援の充実				
2-1-1 保育サービスの充実	保育所入所児童数	2008年度 12,166人	2010年度 12,544人	2014年度 12,300人
	延長保育実施所数 (1時間延長)	2008年度 113所	2010年度 108所	2014年度 101所
	延長保育実施所数 (2時間延長)	2008年度 4所	2010年度 6所	2014年度 13所
	延長保育実施所数 (3時間以上延長)	2008年度 3所	2010年度 3所	2014年度 4所
	一時保育実施所数	2008年度 71所	2010年度 65所	2014年度 75所
	休日保育実施所数	2008年度 7所	2010年度 6所	2014年度 7所
	夜間保育実施所数	2008年度 2所	2010年度 2所	2014年度 2所
	病児・病後児保育 実施施設数	2008年度 4施設	2010年度 3施設	2014年度 5施設
2-1-6 短期入所生活援助事業 (ショートステイ・トワイライトステイ) 家庭において児童を養育することが一時的に困 難となった場合に実施	ショートステイ・トワイ ライトステイ実施施設数	2008年度 2カ所	2010年度 2カ所	2014年度 2カ所

(※1) 「健康ふくやま21」次回アンケート調査時に把握予定

2010年度（平成22年度）目標値設定事業の実績値の報告

コード / 事業	指標	後期計画 現状値	実績値	後期計画 目標値
2-1-7 ファミリー・サポート・センター事業 子育てを応援してほしい人と応援したい人が会員登録/保育所等への送迎や預りなどの援助	ファミリー・サポート・センター協力会員数	2008年度 175人	2010年度 206人	2014年度 230人
2-2-2 地域子育て支援センター事業 保育所を拠点として、家庭で子どもを保育している保護者の子育てを支援	実施箇所数	2008年度 19所	2010年度 21所	2014年度 25所
2-2-9 子育て支援ネットワーク活動の推進 子育て支援ネットワーク委員会(福山市と社会福祉協議会で構成)の活動	子育てに関する不安や負担感	2008年度 就学前児童 58.2%	(※2)	2014年度 減少
		2008年度 小学校児童 60.2%	(※2)	2014年度 減少
2-4-5 放課後児童クラブ事業 対象は市内の小中学校1~3年生(特別支援学級在籍などの児童は6年生まで)	放課後児童クラブ開設箇所数	2008年度 77カ所	2010年度 98カ所	2014年度 97カ所
基本方針3 次代を担う世代の育成				
3-1-1 確かな学力の向上	「基礎・基本定着状況調査」県平均値以上の教科数の増加	2008年度 小学校 0科目/2科目	2010年度 小学校 0科目/2科目	2011年度 小学校 2科目/2科目
		2008年度 中学校 0科目/3科目	2010年度 中学校 0科目/3科目	2011年度 中学校 1科目/3科目
3-1-2 少人数指導推進支援事業 小中学校に少人数指導推進員(非常勤講師)を配置	校内授業研究の実施	2009年度 1.7回/1校	2010年度 1.7回/1校	2014年度 2回/1校
3-2-2 子育て支援交流事業の充実 公民館やコミュニティセンター・館で実施/親同士の交流や育児情報の交換、育児ストレスの解消	子育て支援交流事業	2008年度 全公民館で実施	2010年度 全公民館で実施	2014年度 全公民館で実施
3-3-3 子どもの居場所づくり事業(放課後子ども教室の推進) 小学校の図書室や空き教室などを利用し、地域住民のボランティアによる指導のもと、交流事業などを実施	放課後子ども教室実施箇所数	2009年度 36カ所	2010年度 36ヶ所	2014年度 全小学校区で実施
基本方針4 援助を必要とする子育て家庭への支援				
4-1-1 児童虐待防止等ネットワーク活動の推進	市が受付けた児童虐待相談件数	2008年度 112件	2010年度 215件	2014年度 減少
4-3-2 特別支援教育体制推進事業 通常学級に在籍する発達障がいのある幼児、児童、生徒への指導支援	個別の教育支援計画の策定	2008年度 58.5%	2010年度 小75.0% 中84.3%	2011年度 100%

(※2) 「福山市次世代育成支援対策推進行動計画」次回アンケート調査時に把握予定

目標値などの変更について

2010年度・2011年度変更分

※目標値の変更はないが、次のとおり事業名の変更があったもの。

コード	変更前	変更後	備考
2-2-5	ぐりとぐら広場	ふれ愛ひろば	2010年度から事業名を変更
3-3-6	市立四年制大学の設置	福山市立大学の設置	2010年度から事業名を変更
4-3-12	水中活動モデル講座	水中活動事業	2011年度から事業名を変更

ふくやま子育て夢プラン 具体的な事業の実施状況報告書

コード	1-1-1 (2-2-6, 3-6-2, 4-1-3)	1-1-2	1-1-3
基本方針	安心できる母子保健の推進	安心できる母子保健の推進	安心できる母子保健の推進
基本施策	妊娠・出産期の支援	妊娠・出産期の支援	妊娠・出産期の支援
具体的な事業	子育て支援ボランティア事業	母子健康手帳の交付	妊婦一般健康診査
事業概要	市保健師と連携し、家庭訪問などにより、保護者の話し相手や、子育ての情報提供を行うことができるよう、キラキラサポーター(子育て支援ボランティア)を養成します。	安全な妊娠・出産のための情報提供や妊娠・出産・子育てに関する一貫した記録など、母子が自らの健康管理に活用するための母子健康手帳を交付し、母子保健事業を啓発しています。	医療機関において、問診、診察、血液検査などを行い、妊婦の健康確保を図ります。
2010年度 (平成22年度) 実施内容及び 課題等	<p>【継続 ■ 新規 □】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●全小学校区に1人以上のキラキラサポーター(子育て支援ボランティア)を登録(養成)することを目標に、2003年度からキラキラサポーター(子育て支援ボランティア)の養成を実施した。 ●2010年度の養成により新規登録者数15人、全登録者数185人となり、78小学校区中、72小学校区が登録済 ●2010年度はフォローアップ研修を3回開催し、参加者数は、延べ166人。 	<p>【継続 ■ 新規 □】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●市民課、保健センター、各支所・分室などで妊娠届をした人に交付した(外国語併記も含む)。 ●8か国語対応(ポルトガル語・タガログ語・中国語・英語・ハンダ語・タイ語・インドネシア語・スペイン語) <p>母子健康手帳交付数 4,943冊 (再交付含む)</p>	<p>【継続 ■ 新規 □】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●妊婦一般健康診査検査受診票を、2007年度は1回の妊娠につき2枚交付し、2008年度は5枚交付した。2009年度からは、受診票を補助券方式に変更し実施しており、内訳は、1回の妊娠につき、妊婦一般健康診査補助券14枚、妊婦一般健康診査検査券1枚、子宮頸がん検診受診券1枚を交付した。 <p>受診件数 64,442件</p>
2011年度 (平成23年度) 計画	<p>【継続 ■ 廃止 □】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●キラキラサポーター(子育て支援ボランティア)の養成講座の開催 ●フォローアップ研修の開催 ●キラキラサポーター(子育て支援ボランティア)による子育て支援活動推進の支援 	<p>【継続 ■ 廃止 □】</p> <p>引き続き実施</p>	<p>【継続 ■ 廃止 □】</p> <p>引き続き実施するとともに、2011年度から、HTLV-1抗体検査及びクラミジア検査を追加 妊婦一般健康診査補助券14枚、妊婦一般健康診査検査券(HTLV-1検査含む)1枚、子宮頸がん検診受診券1枚、クラミジア検査受診券1枚を交付</p>
(予算額:千円)	131	612	416,124
備考 (特記事項)	キラキラサポーター(子育て支援ボランティア)の活動については、健康推進課及び各保健事業実施課と連携し支援 目標値の設定あり		
担当課	保健部総務課	健康推進課	健康推進課

ふくやま子育て夢プラン 具体的な事業の実施状況報告書

コード	1-1-4 (1-2-5, 1-3-1)	1-1-5 (1-3-2, 2-3-1, 4-1-4)	1-1-6 (2-2-4, 4-1-5)
基本方針	安心できる母子保健の推進	安心できる母子保健の推進	安心できる母子保健の推進
基本施策	妊娠・出産期の支援	妊娠・出産期の支援	妊娠・出産期の支援
具体的な事業	訪問指導／ すこやか育児サポート事業	こんにちは赤ちゃん訪問事業	育児支援訪問事業
事業概要	妊婦や満1歳までの育児不安のある人や家族を対象に、産婦人科医、小児科医、市保健師が協力し、妊娠中から乳児期の子育て不安に対して、小児科医の保健指導や市保健師による家庭訪問を行い、不安の軽減を図ります。	生後4か月までの乳児がいる家庭に、保健師、育児家庭訪問員、キラキラサポーター（子育て支援ボランティア）が訪問し、育児についての情報提供をするとともに、親子の心身の状況や養育環境を把握します。 支援が必要な家庭に対しては、関係機関と連携を図り、継続した支援を行います。	育児支援が特に必要と判断した家庭を、保健師・助産師・保育士などが訪問し、養育に関する指導、助言などを行うことにより、家庭における適切な養育ができるように支援します。
2010年度 (平成22年度) 実施内容及び 課題等	<p style="text-align: center;">【継続 ■ 新規 □】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ハイリスクの妊婦及び乳幼児等の訪問を行い育児不安の軽減に努めるとともに、育児支援家庭訪問事業と連携して支援した。 ●すこやか育児サポート事業 件数 136件 	<p style="text-align: center;">【継続 ■ 新規 □】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●2008年度から実施しており、2010年度は、訪問対象4,581件に対し、訪問実績は4,034件（88.1%）となった。 [内訳：キラキラサポーター（子育て支援ボランティア）1,065件、育児家庭訪問員1,231件、保健師1,738件] ●訪問時には「子育て安心ファイル」により、乳幼児健康相談などの日程や予防接種の受け方、相談窓口の紹介を行うとともに、赤ちゃんの絵本の紹介や「あかちゃんといっしょのおはなし会」などの情報提供をした。 	<p style="text-align: center;">【継続 ■ 新規 □】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●2005年度から、育児家庭訪問員（保健師、助産師、保育士などの有資格者）が訪問し、育児支援するとともに、要支援家庭については学区担当保健師と連携した。 ●2009年度からは、こんにちは赤ちゃん訪問事業などで、育児支援が特に必要と判断した家庭を訪問し、育児などに関する指導・助言などを行うことにより、家庭における適切な養育ができるように支援した。 <p style="text-align: right;">訪問指導件数 203件</p>
2011年度 (平成23年度) 計画	<p style="text-align: center;">【継続 ■ 廃止 □】</p> <p>引き続き実施</p>	<p style="text-align: center;">【継続 ■ 廃止 □】</p> <p>引き続き実施</p>	<p style="text-align: center;">【継続 ■ 廃止 □】</p> <p>引き続き実施</p>
(予算額:千円)	447	9,884	6,219
備考 (特記事項)	目標値の設定あり	目標値の設定あり	
担当課	健康推進課	健康推進課	健康推進課

ふくやま子育て夢プラン 具体的な事業の実施状況報告書

コード	1-2-1	1-2-2	1-2-3
基本方針	安心できる母子保健の推進	安心できる母子保健の推進	安心できる母子保健の推進
基本施策	乳幼児期から思春期までの保健対策	乳幼児期から思春期までの保健対策	乳幼児期から思春期までの保健対策
具体的な事業	乳幼児の事故防止	食生活改善推進事業	離乳食講習会
事業概要	不慮の事故による乳幼児の死亡を防ぐための取組を行います。	偏食防止、朝食摂取等子どもに望ましい食生活を身につける啓発を推進します。	離乳食の必要性、進め方、作り方などの指導を行い、健全な食生活の習慣づけを支援します。
2010年度 (平成22年度) 実施内容及び 課題等	<p>【継続 ■ 新規 □】</p> <p>乳幼児健康相談及び乳幼児健康診査時などで、4歳までの不慮の事故死亡率（人口10万対）0%を目指して、各年齢（月齢）に応じた不慮の事故防止について啓発した。</p>	<p>【継続 ■ 新規 □】</p> <p>●食生活改善推進員による料理教室などの開催 実施回数 162回 参加者数 4,431人</p> <p>●市民向けの食育講演会の開催 実施回数 1回 参加者数 719人</p> <p>●2008年度に「福山市食育推進計画概要版」を作成し、保育所、幼稚園、小学校の保護者に配布（40,000部）するとともに、食育の日に街頭で配布（4,000部）した。</p> <p>●栄養士による「食育」に関する講話会などを実施し、朝食の必要性など食生活の啓発をした。 公立幼稚園 11回、 小学校 112回、中学校 16回</p> <p>●保育所児童を対象に、保育課栄養士が作成した教材を使用し、食育指導した。 実施箇所 17所</p>	<p>【継続 ■ 新規 □】</p> <p>健やかな親子関係の形成を促し、育児に自信をもたせることを基本に、健全な生活リズムを身につけ食べる楽しさを体験していくことができるよう、一人ひとりの子どもの「食べる力」を育むための支援として、離乳食の必要性や進め方、作り方を指導した。</p> <p>実施回数 44回 参加者数 延べ1,052人</p>
2011年度 (平成23年度) 計画	<p>【継続 ■ 廃止 □】</p> <p>引き続き実施</p>	<p>【継続 ■ 廃止 □】</p> <p>引き続き実施</p>	<p>【継続 ■ 廃止 □】</p> <p>引き続き実施</p>
(予算額:千円)	140	612	360
備考 (特記事項)	目標値の設定あり	予算額は健康推進課 目標値の設定あり	
担当課	健康推進課	健康推進課、学校保健課 保育課	健康推進課

ふくやま子育て夢プラン

具体的な事業の実施状況報告書

コード	1-2-4	1-2-6 (1-3-3)	1-2-7
基本方針	安心できる母子保健の推進	安心できる母子保健の推進	安心できる母子保健の推進
基本施策	乳幼児期から思春期までの保健対策	乳幼児期から思春期までの保健対策	乳幼児期から思春期までの保健対策
具体的な事業	乳幼児健康相談	乳児一般健康診査、4か月児健康診査、1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査	予防接種
事業概要	乳幼児の問診、身体測定、発育・発達の確認、育児相談、歯科相談、栄養相談を行うことで乳幼児の心身の健全な発育・発達を支援します。	医療機関などにおいて乳児の疾病、障がいの早期発見、心身の健全な発育・発達などを促すとともに、親の育児不安を解消するため、乳幼児の健康診査を実施します。	子どもの疾病予防のため、予防接種の勧奨及び情報提供を行います。
2010年度 (平成22年度) 実施内容及び 課題等	<p>【継続 ■ 新規 □】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●保健師、栄養士、歯科衛生士による健康相談を行い、生活リズムの重要性についての指導を実施した。 ●「絵本と出会うふれあい事業」をとおして、読み聞かせの方法などの体験により、絵本の読み聞かせの大切さを保護者に啓発するなど、幅広く子育てを支援した。 <p>実施回数 260回 相談件数 延べ6,473件</p>	<p>【継続 ■ 新規 □】</p> <p>乳幼児の健康診査は、個別健康診査（乳児一般健康診査・4か月児健康診査）と集団健康診査（1歳6か月児健康診査・3歳児健康診査）で実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●幼児健康診査実施回数 1歳6か月児健康診査 60回 3歳児健康診査 60回 ●幼児健康診査受診率 1歳6か月児健康診査 92.8% 3歳児健康診査 91.1% 	<p>【継続 ■ 新規 □】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●広報、乳幼児訪問、乳幼児健康相談、幼児健康診査などにおいて、予防接種の勧奨を実施した。 ●家庭・保育所（園）・幼稚園・小中高校を通じて、児童・生徒に予防接種の勧奨を実施した。 ●麻疹風しんの3期4期接種対象者に対し、接種率向上に向けて接種勧奨はがき（9,280通）を送付した。
2011年度 (平成23年度) 計画	<p>【継続 ■ 廃止 □】</p> <p>引き続き実施</p>	<p>【継続 ■ 廃止 □】</p> <p>引き続き実施</p>	<p>【継続 ■ 廃止 □】</p> <p>あらゆる機会に、予防接種の勧奨及び情報提供し接種率を向上することにより、子どもの健やかな成長を育むとともに感染症のまん延を防ぐ。</p>
(予算額:千円)	436	88,350	381,766
備考 (特記事項)	目標値の設定あり	目標値の設定あり	<p>予算額は保健予防課</p> <p>※その他の関係部署 健康推進課等保健事業実施課、学校保健課、児童部庶務課、保育課</p> <p>目標値の設定あり</p>
担当課	健康推進課	健康推進課	保健予防課 他(※)

ふくやま子育て夢プラン 具体的な事業の実施状況報告書

コード	1-2-8 (3-4-2)	1-2-9	1-4-1
基本方針	安心できる母子保健の推進	安心できる母子保健の推進	安心できる母子保健の推進
基本施策	乳幼児期から思春期までの保健対策	乳幼児期から思春期までの保健対策	小児医療の充実
具体的な事業	思春期の保健対策	学校の無煙化の推進	小児医療の充実
事業概要	小中学生の喫煙・飲酒防止教育の実施、性や性感染症に関する正しい知識の普及・啓発を行います。	学校において喫煙防止教育を実施するとともに、敷地内全面禁煙を推進します。	在宅当番、小児二次救急輪番病院、福山市医師会による福山夜間小児診療所の休日夜間診療を実施しています。
2010年度 (平成22年度) 実施内容及び課題等	<p>【継続 ■ 新規 □】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●学習指導要領に基づき、喫煙・飲酒防止教育、薬物防止教育を全小中学校で実施した。 ●「健康ふくやま21」の取り組みとして、小中学校での喫煙・飲酒防止教育を実施した（内訳：小学校8校、中学校8校、その内3校は薬物防止教育も実施）。 ●中学校における「生と性」の講演会を3校で実施した。 ●子どもを産み育てるための、適正な体重の意義の啓発を実施した。 ●小中学生の喫煙・飲酒防止として、地域における補導活動や青少年センターによる補導活動（常時・合同・特別）を実施した。 喫煙補導数 619件 	<p>【継続 ■ 新規 □】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●2007年度から、全校で敷地内全面禁煙を実施した。 	<p>【継続 ■ 新規 □】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●休日昼間の一次救急を市内の医療機関（小児科以外も含む）の当番医により実施した。また、2009年度から、休日昼間の在宅当番医療機関において、冬期の小児患者の増加に対応するため、小児科を従来の1医療機関から2医療機関体制とした。 ●毎夜間及び休日昼間の二次救急を14医療機関（小児は4医療機関）の輪番により実施した。 ●福山市医師会が毎夜間、福山夜間小児診療所（医師会館）において小児科診療を実施した。 ●課題としては、小児や一般の二次救急輪番制参加病院においても、医師不足により医師が過酷な勤務状況を強いられており、輪番制の体制確保が困難になっている状況がうかがえる。
2011年度 (平成23年度) 計画	<p>【継続 ■ 廃止 □】</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き実施 	<p>【継続 ■ 廃止 □】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●全校で敷地内全面禁煙継続 ●地域、関係団体への啓発活動 ●喫煙防止教育の充実 	<p>【継続 ■ 廃止 □】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●2010年度事業に加えて、小児二次救急医療機関への医師派遣費用の一部を負担する「小児二次救急医師確保対策事業」を新たに実施し、小児二次救急輪番制の診療体制確保の一助とする。
(予算額:千円)	64	—	94,879
備考 (特記事項)	<p>予算額は保健予防課</p> <p>※その他の関係部署 保健部総務課、健康推進課等保健事業実施課、青少年課、指導課、学校保健課</p> <p>目標値の設定あり</p>	<p>目標値の設定あり</p>	
担当課	保健予防課 他(※)	指導課	保健部総務課

ふくやま子育て夢プラン 具体的な事業の実施状況報告書

コード	1-4-2	2-1-1 (2-4-4)	2-1-1 (2-4-4)
基本方針	安心できる母子保健の推進	子育て家庭に対する支援の充実	子育て家庭に対する支援の充実
基本施策	小児医療の充実	保育所その他の施設での 保育サービスの充実	保育所その他の施設での 保育サービスの充実
具体的な事業	小児救急に関する啓発	保育サービスの充実 (保育所入所児童数)	保育サービスの充実 (延長保育1時間延長)
事業概要	救急医療の円滑な運営のため、市民への正しい救急医療のあり方を啓発します。	保育を必要とする児童の全員入所、児童一人ひとりの人権を大切にする心を育てる保育の充実、保護者の就労形態や生活実態の変化に対応できる多様な保育サービスの充実を推進します。	保護者の就労形態の多様化等に伴い保育所の開所時間を超えて保育を行います。
2010年度 (平成22年度) 実施内容及び 課題等	【継続 ■ 新規 □】 ●軽症患者の二次救急病院の安易な利用などにより、医師の過重な勤務や、重症患者への対応が課題となっていることから、市広報やテレビ、ラジオなどとおして正しい受診方法について啓発を行った。 ●福山市の救急医療の現状などの周知を図るため、救急医療セミナーを開催するとともに、救命救急講習を実施した。	【継続 ■ 新規 □】 ●入所児童数 12,544人 ●途中入所による弾力的な入所児童の受け入れ ●入所定員の拡大	【継続 ■ 新規 □】 ●公立保育所(65箇所)で実施 ●私立保育所(43箇所)で実施
	2011年度 (平成23年度) 計画	【継続 ■ 廃止 □】 引き続き実施	【継続 ■ 廃止 □】 12,000人 ●公立 5,160人 ●私立 6,840人
(予算額:千円)	—	12,141,508	※242,362
備考 (特記事項)	救急医療セミナー・救命救急講習については福山市・福山市医師会・福山地区消防組合が主催し、福山府中地域保健対策協議会が後援	児童数は、各年度3月1日現在 目標値の設定あり	※予算額は私立分のみ 目標値の設定あり
担当課	保健部総務課	児童部庶務課	児童部庶務課

ふくやま子育て夢プラン 具体的な事業の実施状況報告書

コード	2-1-1 (2-4-4)	2-1-1 (2-4-4)	2-1-1 (2-4-4)
基本方針	子育て家庭に対する支援の充実	子育て家庭に対する支援の充実	子育て家庭に対する支援の充実
基本施策	保育所その他の施設での 保育サービスの充実	保育所その他の施設での 保育サービスの充実	保育所その他の施設での 保育サービスの充実
具体的な事業	保育サービスの充実 (延長保育2時間延長)	保育サービスの充実 (延長保育3時間以上延長)	保育サービスの充実 (休日保育)
事業概要	保護者の就労形態の多様化等 に伴い保育所の開所時間を超え て保育を行います。	保護者の就労形態の多様化等 に伴い保育所の開所時間を超え て保育を行います。	保護者の就労形態の多様化に 対応するため、日曜・祝日の保 育を行います。
2010年度 (平成22年度) 実施内容及び 課題等	【継続 ■ 新規 □】 私立保育所（6箇所）で実施	【継続 ■ 新規 □】 私立保育所（3所）で実施 ●3時間延長 1所 ●4時間延長 2所 ●5時間延長 1所	【継続 ■ 新規 □】 ●公立（1箇所）で実施 ●私立（5箇所）で実施
	【継続 ■ 廃止 □】 7箇所 ●公立 1箇所 ●私立 7箇所	【継続 ■ 廃止 □】 3箇所 ●公立 1箇所 ●私立 3箇所	【継続 ■ 廃止 □】 6箇所 ●公立 1箇所 ●私立 5箇所
2011年度 (平成23年度) 計画	【継続 ■ 廃止 □】 7箇所 ●公立 1箇所 ●私立 7箇所	【継続 ■ 廃止 □】 3箇所 ●公立 1箇所 ●私立 3箇所	【継続 ■ 廃止 □】 6箇所 ●公立 1箇所 ●私立 5箇所
(予算額:千円)	46,819	41,828	※4,737
備考 (特記事項)	目標値の設定あり	目標値の設定あり	※予算額は私立補助分のみ 目標値の設定あり
担当課	児童部庶務課	児童部庶務課	児童部庶務課

ふくやま子育て夢プラン 具体的な事業の実施状況報告書

コード	2-1-1 (2-4-4)	2-1-1 (2-4-4)	2-1-1 (2-4-4)
基本方針	子育て家庭に対する支援の充実	子育て家庭に対する支援の充実	子育て家庭に対する支援の充実
基本施策	保育所その他の施設での 保育サービスの充実	保育所その他の施設での 保育サービスの充実	保育所その他の施設での 保育サービスの充実
具体的な事業	保育サービスの充実 (夜間保育)	保育サービスの充実 (病児・病後児保育)	保育サービスの充実 (一時保育)
事業概要	夜間、保護者の就労等による 保育ニーズへの対応を図りま す。	病気の状態（回復期を含む） にある児童で、集団保育等が困 難な場合に医療機関に付設され た専用スペースで一時的に預か ります。	保育所に入所していない就学 前児童を、保護者の傷病・入 院、災害・事故、育児等に伴う 心理的・肉体的負担の解消を図 るため、緊急・一時的に預かり ます。
2010年度 (平成22年度) 実施内容及び 課題等	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】
	私立保育所2箇所を実施 (開所時間) 午前10時～翌日午前2時	医療機関 3箇所 ●橘高クリニック ●いぶき小児科 ●福山市民病院	保育所未入所児童の保護者の 子育てを支援した。 実施施設数 65箇所 ・公立 55箇所 ・私立 10箇所
2011年度 (平成23年度) 計画	【継続 ■ 廃止 □】	【継続 ■ 廃止 □】	【継続 ■ 廃止 □】
	2箇所 ●公立 1箇所 ●私立 2箇所	3箇所 ●橘高クリニック ●いぶき小児科 ●福山市民病院	67箇所 ●公立 53箇所 ●私立 14箇所
(予算額:千円)	4,920	26,230	※31,680
備考 (特記事項)	目標値の設定あり	※小池やすはら小児クリニック は2010年3月31日事業中止。新規 開設施設については、今後検討 する。 目標値の設定あり	※予算額は私立分のみ ※2009年度より第2種社会福祉事 業となる。 目標値の設定あり
担当課	児童部庶務課	児童部庶務課	児童部庶務課

ふくやま子育て夢プラン 具体的な事業の実施状況報告書

コード	2-1-1 (2-4-4)	2-1-2 (3-1-10)	2-1-3
基本方針	子育て家庭に対する支援の充実	子育て家庭に対する支援の充実	子育て家庭に対する支援の充実
基本施策	保育所その他の施設での 保育サービスの充実	保育所その他の施設での 保育サービスの充実	保育所その他の施設での 保育サービスの充実
具体的な事業	保育サービスの充実 (保育所児童保育環境の改善)	保育所・幼稚園の連携、就学 前教育・保育と小学校の連携	保育所の再整備
事業概要	老朽化が進行する保育所の大型遊具の更新、空調設備の整備及び施設修繕を進めるなど、保育環境を改善し児童福祉の向上を図ります。	保育所・幼稚園それぞれの特性を活かした多様な保育・教育の提供及び幼児期の教育と小学校以降の教育との円滑な移行を図るため、保育所と幼稚園、小学校間の連携を図ります。	今後の児童数の推移、地域の実態、保護者のニーズ、施設の老朽化などに応じた保育所の再整備を進め、良質な保育を提供できる体制を整備します。
2010年度 (平成22年度) 実施内容及び 課題等	【継続 ■ 新規 □】 ●保育所プール遮光ネット設置 21所 ●保育所大型遊具更新整備 1所	【継続 ■ 新規 □】 ●保育所と幼稚園、小学校において、個々に応じた指導を継続するため、入学時などに必要な連携を図っている。 ●運動会や発表会、入学前後に子ども同士の活動の交流、及び保育内容の交流を行っている。 ●就学前後や行事のみでなく、年間をとおしての緊密な連携が必要である。	【継続 ■ 新規 □】 ●2009年度からの繰越事業 公立保育所 1所 (服部南) 私立保育所 1所 (まこと) ●2010年度事業 公立保育所 1所 (川口) 私立保育所 3所 (水呑、鞆こども園、童心園)
	【継続 ■ 廃止 □】 ●保育所プール遮光ネット設置 紫外線対策のため遮光ネット 未整備のプールへ計画的に設置 ●保育所大型遊具更新 大型遊具について、安全性、 経過年数及び老朽化度等を総合 的に勘案し、計画的に更新	【継続 ■ 廃止 □】 引き続き実施	【継続 ■ 廃止 □】 ●2010年度からの繰越事業 公立保育所 1所 (川口) 私立保育所 2所 (てまり、ひまわり) ●2011年度事業 私立保育所 1所 (今津)
(予算額:千円)	10,800	—	622,194
備考 (特記事項)	目標値の設定あり		※予算額は2010年度からの繰越額 及び2011年度予算
担当課	児童部庶務課	保育課、指導課	児童部庶務課

ふくやま子育て夢プラン 具体的な事業の実施状況報告書

コード	2-1-5 (2-4-7)	2-1-6	2-1-7 (2-4-6)
基本方針	子育て家庭に対する支援の充実	子育て家庭に対する支援の充実	子育て家庭に対する支援の充実
基本施策	保育所その他の施設での 保育サービスの充実	保育所その他の施設での 保育サービスの充実	保育所その他の施設での 保育サービスの充実
具体的な事業	幼稚園での預かり保育	短期入所生活援助事業 (ショートステイ・ トワイライトステイ)	ファミリー・サポート・ センター事業
事業概要	私立幼稚園において日常の保育 終了後や長期休暇の期間において 預かり保育を行います。	保護者の疾病や疲労、仕事など により、家庭において児童を養育 することが一時的に困難となった 場合に、児童養護施設や乳児院に おいてショートステイを実施しま す。 保護者の仕事などにより平日の 夜間または休日に不在となり、家 庭において児童を養育することが 困難となった場合にトワイライト ステイを実施します。	子育てを応援してほしい人と子 育てを応援したい人が会員となっ て子育てを地域で支える活動を実 施しています。
2010年度 (平成22年度) 実施内容及び 課題等	【継続 <input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 】 すべての私立幼稚園で実施し た。	【継続 <input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 】 ●実施箇所 ・ショートステイ 2ヶ所 福山乳児院 (0~1歳児) こぶしヶ丘 (2歳以上) ・トワイライト 2ヶ所 福山乳児院 (0~1歳児) こぶしヶ丘 (2歳以上) ●利用状況 ・ショートステイ こぶし 9人 20日	【継続 <input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 】 ●援助の希望にできるだけ応じ相 互援助活動がスムーズにいくよう 努めた。 ●活動延べ件数 2,422件 前年度 2,986件 主な活動は、学童の迎え、習い 事等の援助、帰宅後の預かり。 ●2011年3月末会員数 依頼会員 561人 (526人) 協力会員 206人 (187人) 両方会員 93人 (98人) ()内は、2010年3月末 ●依頼会員の増加に比べて、協 力・両方会員の増加が少ないた め、協力会員の確保が課題となっ ている。 ●協力会員の研修を推進し、活動 内容の充実、拡大を図る必要があ る。
	【継続 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 】 公立幼稚園では、今年度より保 育終了後において、試行的に預か り保育を実施	【継続 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 】 引き続き実施	【継続 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 】 ●地域バランスを勘案した協力会 員の確保に努める。 ●協力会員の研修を推進し、活動 内容の充実に努める。
(予算額:千円)	—	183	10,252
備考 (特記事項)		目標値の設定あり	※2011年度より担当課を保育課に 変更 目標値の設定あり
担当課	指導課	子育て支援課	子育て支援課

ふくやま子育て夢プラン 具体的な事業の実施状況報告書

コード	2-2-1 (1-3-4, 2-3-2)	2-2-2 (1-3-5, 2-3-3)	2-2-3 (3-2-1)
基本方針	子育て家庭に対する支援の充実	子育て家庭に対する支援の充実	子育て家庭に対する支援の充実
基本施策	地域の多様なニーズに応えた子育て支援サービスの充実	地域の多様なニーズに応えた子育て支援サービスの充実	地域の多様なニーズに応えた子育て支援サービスの充実
具体的な事業	ふくやま子育て応援センター「キッズコム」	地域子育て支援センター事業	家庭児童相談室
事業概要	育児相談、子育て講座、保護者によるサークル活動の支援、子育て支援事業に関する情報提供など、地域の子育てを総合的に支援します。	保育所を拠点として、家庭で子どもを保育している保護者の子育てを支援します。	家庭における人間関係や子どもの養育に関することなど、家庭の様々な相談に応じ、必要な助言や指導を行います。
2010年度 (平成22年度) 実施内容及び 課題等	<p>【継続 ■ 新規 □】</p> <p>相談件数 1,581件 (1,580件) 情報提供数12,001件 (11,548件)</p> <p>() 内は、2010年3月末</p>	<p>【継続 ■ 新規 □】</p> <p>●ふくやま子育て応援センター「キッズコム」や地域の拠点保育所を中心として、それぞれの地域保育所が連携し、家庭で子どもを保育している保護者とその子どもを対象に、遊びの場・相談の場を提供した。</p> <p>●希望があれば家庭訪問を行い、気軽に相談できる体制を図った。</p> <p>●公立拠点保育所において、電話相談・来訪相談を各週1回(月～土)実施した。</p> <p>●公立保育所全所において、地域の未就学児を対象に遊びの場を提供した。(65所)</p> <p>●地域子育て支援センター実施箇所(21箇所)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・センター型 <ul style="list-style-type: none"> 公立保育所 6所 キッズコム 1箇所 私立保育所 4所 ・ひろば型 <ul style="list-style-type: none"> 私立保育所 10所 	<p>【継続 ■ 新規 □】</p> <p>●家庭児童相談員(ひとり親家庭自立支援員と兼務)4人を配置し、相談に対応した。</p> <p>●「子育てに関する不安や負担感」の軽減のため、保護者の自立支援事業など、他の子育て支援施策と連携しながら、助言や指導を行った。</p> <p>●相談件数 448件</p>
2011年度 (平成23年度) 計画	<p>【継続 ■ 廃止 □】</p> <p>●他の各種子育て支援事業との連携を図る。</p> <p>●引き続き、事業の充実を図りながら、地域子育て支援センター事業の拠点施設として、機能向上に努める。</p>	<p>【継続 ■ 廃止 □】</p> <p>引き続き実施 実施箇所 26箇所</p> <p>○センター型 公立保育所 6所 子育て応援センター 私立保育所 4所</p> <p>○ひろば型 公立保育所 3所 私立保育所 12所</p>	<p>【継続 ■ 廃止 □】</p> <p>家庭児童相談員(ひとり親自立支援員と兼務)1人を増員し、相談・指導体制を強化する中で、引き続き実施</p>
(予算額:千円)	—	140,080	14,270
備考 (特記事項)	※2011年度より担当課を保育課に変更	目標値の設定あり	※ひとり親家庭等相談事業(4-2-5)と合算
担当課	子育て支援課	保育課	子育て支援課

ふくやま子育て夢プラン 具体的な事業の実施状況報告書

コード	2-2-5	2-2-8	2-2-9 (2-3-4)
基本方針	子育て家庭に対する支援の充実	子育て家庭に対する支援の充実	子育て家庭に対する支援の充実
基本施策	地域の多様なニーズに応えた子育て支援サービスの充実	地域の多様なニーズに応えた子育て支援サービスの充実	地域の多様なニーズに応えた子育て支援サービスの充実
具体的な事業	ふれ愛ひろば (旧ぐりとぐら広場)	幼稚園での子育て支援事業	子育て支援ネットワーク活動の推進
事業概要	就学前児童と保護者を対象に、福山市自然研修センター（ふくやまふれ愛ランド）で、コミュニティの場の提供や絵本の読み聞かせ、保育士による親子でのふれあい遊びなど子育て支援事業を行います。	子育て不安の解消を図るため、関係機関との関連を図りながら、育児相談や子育てサークルなどの支援、情報提供などを行います。	様々な子育て支援事業についてタイムリーな情報提供を行うとともに、次世代育成支援対策推進行動計画の実施状況の把握、課題の抽出、今後のあり方などの検討及びその他子育て支援関係事業の調査研究を行います。
2010年度 (平成22年度) 実施内容及び 課題等	<p>【継続 ■ 新規 □】</p> <p>遊具を使った自由遊び、夏には水遊び、さらに月1回保育士による「ふれ愛あそび」、ボランティアによる「絵本の読み聞かせ」など、様々な利用者ニーズに応じた子育て支援事業を実施した。</p> <p>実施回数 178回 参加者数 2,445人</p>	<p>【継続 ■ 新規 □】</p> <p>●すべての公立幼稚園（19園）において、未就園児の会を計画し、幼児同士とのふれあいや子育て相談を実施した。</p> <p>●すべての私立幼稚園（23園）において、未就園児に対する園庭開放や、在園児童とのふれあいの機会を提供し、工作・折り紙などのものづくりを実施した。</p>	<p>【継続 ■ 新規 □】</p> <p>●2005年度に設置した子育て支援ネットワーク委員会（福山市及び社会福祉協議会で構成）を開催し、次世代育成支援対策推進行動計画の実施状況の把握、課題の抽出、今後のあり方などを検討した。</p> <p>●「あんしん子育て応援ガイド」を作成し、出生届をした人に配付</p> <p>発行部数 33,000部</p> <p>●市のホームページ「子育てe-支援情報！」で情報提供を行った。</p>
	2011年度 (平成23年度) 計画	<p>【継続 ■ 廃止 □】</p> <p>引き続き実施</p>	<p>【継続 ■ 廃止 □】</p> <p>引き続き実施</p>
(予算額:千円)	—	—	679
備考 (特記事項)	※2010年度から「ぐりとぐら広場」から「ふれ愛ひろば」へ名称変更		目標値の設定あり
担当課	青少年課	指導課	子育て支援課

ふくやま子育て夢プラン 具体的な事業の実施状況報告書

コード	2-3-5	2-4-1	2-4-2
基本方針	子育て家庭に対する支援の充実	子育て家庭に対する支援の充実	子育て家庭に対する支援の充実
基本施策	子育て家庭に対する情報提供の充実	子育てと仕事の両立支援の推進	子育てと仕事の両立支援の推進
具体的な事業	子育て情報誌の発行	女性雇用対策事業等	女性の再チャレンジ支援事業
事業概要	様々な子育て支援事業についてタイムリーな情報提供を行います。	国、県、関係団体と連携し、勤労者及び事業主に対し、男女の雇用機会の均等やワーク・ライフ・バランスの支援について、広報や啓発、研修、情報提供などを行います。	出産・育児などで離職し、再就職を希望する女性を支援するため、仕事と家庭の両立支援企業を集めた合同就職面接や説明会、相談会を開催します。
2010年度 (平成22年度) 実施内容及び 課題等	<p>【継続 ■ 新規 □】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「あんしん子育て応援ガイド」(毎年度発行) / 2-2-9 ●「げんき情報局」(毎月発行) 掲載内容は、子どもを対象とした体験活動や講座等の情報、食育や図書紹介などの情報、保護者を対象とした子育てに関する情報等 <p>発行部数 636,000部</p>	<p>【継続 ■ 新規 □】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●広島労働局、県、福山商工会議所と共催し、両立支援対策セミナーを開催した。(参加者：63人) ●広島労働局、福山地方雇用対策協議会、福山人権啓発企業連絡会との主催で、両立支援セミナーを開催した。(参加者：120人) ●広島労働局との主催で、次世代育成支援対策推進法説明会を開催した。(参加：56社) (個別相談：17社) ●(財)福山勤労福祉・文化振興会に委託して、資格取得講座やパソコン講座などの女性雇用支援講座を開催した。(資格取得講座事業参加者：10コース、延べ2,532人)(パソコン講座事業参加者：8コース、延べ219人) ●出前講座(53回開催、参加：1,401人) ●若年求職者支援セミナー(参加：第1回21人、第2回13人) ●「ひろしま若者しごと館福山サテライト」を県と共同で実施した。 	<p>【継続 ■ 新規 □】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●広島県等との主催で、広島県離職者緊急企業説明会(離職者対象、参加企業34社、参加者35人)を開催した。 ●広島労働局、ハローワーク、広島県との主催で、合同就職面接会(すべての求職者対象、参加企業63社、参加者118人)を開催した。
2011年度 (平成23年度) 計画	<p>【継続 ■ 廃止 □】</p> <p>引き続き実施</p>	<p>【継続 ■ 廃止 □】</p> <p>引き続き実施</p>	<p>【継続 ■ 廃止 □】</p> <p>引き続き実施</p>
(予算額：千円)	1,900	14,402	—
備考 (特記事項)	予算額は生涯学習課		
担当課	子育て支援課、生涯学習課	労政課	労政課

ふくやま子育て夢プラン 具体的な事業の実施状況報告書

コード	2-4-3	2-4-5 (2-1-4, 3-5-1, 4-3-5)	2-5-1
基本方針	子育て家庭に対する支援の充実	子育て家庭に対する支援の充実	子育て家庭に対する支援の充実
基本施策	子育てと仕事の両立支援の推進	子育てと仕事の両立支援の推進	子育て家庭に対する経済的な支援
具体的な事業	学習・啓発事業	放課後児童クラブ事業	不妊治療費助成事業
事業概要	「男女共同参画推進条例」及び「福山市男女共同参画基本計画」の推進により、家庭生活、職業生活とその他の活動が両立できるまちづくりに取り組みます。	保護者の就労支援と児童の健全育成のため、授業終了後に、小学校の余裕教室やプレハブ教室などを利用して、適切な遊びや生活の場を提供します。	不妊治療に係る費用の一部を助成します。
2010年度 (平成22年度) 実施内容及び 課題等	<p>【継続 ■ 新規 □】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●多様な働き方を可能にする法制度の周知・啓発や、女性の再チャレンジ支援、男女がともに子育てに関われるよう意識変革を促進するための講座、セミナーを開催した。 ・起業セミナー (4回 59人) ・就職・再就職準備セミナー (5回 113人) ・子育て応援セミナー等 (8回 184人) <p>●2006年度から、仕事と家庭の両立支援や、女性の能力発揮などに積極的に取り組んでいる事業者などを表彰している。 男女共同参画推進事業者表彰 (1社)</p>	<p>【継続 ■ 新規 □】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●対象は、市内の小学校1～3年生（特別支援学級在籍などの児童は6年生まで）に在学する児童であって、保護者が就労などにより昼間家庭にいない児童 ●開設時間 <ul style="list-style-type: none"> ・学期中 月～金曜日13:30～18:00 土曜日 8:30～13:45 ・長期休業中 月～金曜日 8:30～18:00 土曜日 8:30～13:45 ●71人以上のクラブの規模の適正化について、一定の整備を図っています。今後は、利用児童の推移を見極めながら対応を検討する必要があります。 	<p>【継続 ■ 新規 □】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●指定医療機関で、体外受精または、顕微授精に要した費用に対して、2009年度からは1回あたりの助成額を15万円を限度として、同一年度2回助成した。助成期間は通算5年（所得制限あり） <p style="text-align: right;">不妊治療費助成決定者 506件</p>
	2011年度 (平成23年度) 計画	<p>【継続 ■ 廃止 □】</p> <p>引き続き実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・起業セミナー (5月～6月 4回) ・就職・再就職準備セミナー (7月～8月, 11月, 1月, 2月～3月 10回) ・子育て応援セミナー等 (8月～9月, 11月 9回) ・男女共同参画推進事業者表彰 (6月) 	<p>【継続 ■ 廃止 □】</p> <p>引き続き実施</p>
(予算額:千円)	270	519,936	81,000
備考 (特記事項)		緊急通報システム予算2,287千円を除く 目標値の設定あり	
担当課	男女共同参画センター (イコールふくやま)	社会教育振興課	健康推進課

ふくやま子育て夢プラン 具体的な事業の実施状況報告書

コード	2-5-2	2-5-3	2-5-4
基本方針	子育て家庭に対する支援の充実	子育て家庭に対する支援の充実	子育て家庭に対する支援の充実
基本施策	子育て家庭に対する経済的な支援	子育て家庭に対する経済的な支援	子育て家庭に対する経済的な支援
具体的な事業	乳幼児等医療費助成	小児慢性特定疾患治療研究事業	未熟児養育医療
事業概要	乳幼児などが病院へ通院又は入院した際の、保険診療による医療費に係る自己負担分の一部を助成します。	小児慢性特定疾患の保険診療による、医療費の自己負担分の一部を助成します。	出生体重が2,000g以下または未熟なまま生まれた乳児の状態を改善するための保険医療費の自己負担分の一部を助成します。
2010年度 (平成22年度) 実施内容及び 課題等	<p>【継続 ■ 新規 □】</p> <p>●入院の場合は、0歳児から小学校6年生まで。通院の場合は、0歳児から就学前まで。(所得制限あり)</p> <p>●一部負担金は、1医療機関につき1日500円。(入院は月14日まで、通院は月4日まで)</p> <p>受給者数 28,436人</p>	<p>【継続 ■ 新規 □】</p> <p>●対象疾患 悪性新生物、慢性腎疾患、慢性呼吸器疾患、慢性心疾患、内分泌疾患、膠原病、糖尿病、先天性代謝異常、血友病等血液・免疫疾患、神経・筋疾患、慢性消化器疾患</p> <p>●対象者 18歳未満の児童(ただし、満18歳の時点で継続治療の必要な人は20歳未満まで)</p> <p>●助成内容 小児慢性特定疾患の保険医療費の自己負担分の一部を助成 なお、医療機関に支払う患者の月額負担限度額は、生計中心者の所得税額などにより決定</p> <p>助成件数 4,898件</p>	<p>【継続 ■ 新規 □】</p> <p>出生体重が2,000g以下、または未熟なまま生まれた乳児の状態を改善するための、保険医療費の自己負担分の一部を、世帯の所得税額等に応じて助成した。</p> <p>助成件数 270件</p>
2011年度 (平成23年度) 計画	<p>【継続 ■ 廃止 □】</p> <p>引き続き実施</p>	<p>【継続 ■ 廃止 □】</p> <p>引き続き実施</p> <p>助成見込み件数 4,800件</p>	<p>【継続 ■ 廃止 □】</p> <p>引き続き実施</p> <p>助成見込み件数 300件</p>
(予算額:千円)	723,607	139,200	30,000
備考 (特記事項)			
担当課	子育て支援課	保健予防課	保健予防課

ふくやま子育て夢プラン 具体的な事業の実施状況報告書

コード	2-5-5	2-5-6	2-5-7
基本方針	子育て家庭に対する支援の充実	子育て家庭に対する支援の充実	子育て家庭に対する支援の充実
基本施策	子育て家庭に対する経済的な支援	子育て家庭に対する経済的な支援	子育て家庭に対する経済的な支援
具体的な事業	自立支援医療(育成医療)費	ひとり親家庭等医療費助成	重度心身障がい者医療費
事業概要	一定の身体上の障がいなどを有する児童で、確実な治療効果を期待しうるものに対し、障がいや疾病を軽減、改善するために要する保険診療による医療費の自己負担分の一部を助成します。	ひとり親家庭などの親または児童が、病院へ通院または入院した際の保険診療による医療費に係る自己負担分の一部を助成します。	重度の障がいのある障がい児(者)が、病院へ通院または入院した際の保険診療による医療費に係る自己負担分の一部を助成します。
2010年度 (平成22年度) 実施内容及び 課題等	<p>【継続 ■ 新規 □】</p> <p>●対象となる障がいや疾患は、肢体不自由(ペルテス病、内反足など)、視覚障がい(斜視など)、聴覚・平衡機能障がい(小耳症など)、音声・言語・そしゃく機能障がい(口蓋裂など)、内臓障がい(心室中隔欠損症、ファロー四徴症、慢性腎不全など)、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障がいである。</p> <p>●本人負担は原則1割だが、所得の状況などに応じて負担の上限月額が定められている。</p> <p>給付件数 443件</p>	<p>【継続 ■ 新規 □】</p> <p>●対象者は、18歳到達後初めての3月末までの児童を現に扶養している配偶者のない人とその児童で、本人及び生計を同一にする扶養義務者が所得税非課税であること。</p> <p>●一部負担金は、1医療機関につき1日500円(入院、通院とも月4日まで)</p> <p>受給者数 8,086人</p>	<p>【継続 ■ 新規 □】</p> <p>●対象 身体障がい者手帳1級~3級、または療育手帳(A、A、B)の人(所得制限あり)</p> <p>●一部負担金 1医療機関につき 1日200円(入院、通院とも月4日まで) ※ただし65歳以上(療育手帳Bを除く)で後期高齢者医療に加入していない人については、当該受給者が後期高齢者医療の被保険者であると見なして算定した保険診療の自己負担分を給付の対象としている。</p> <p>受給者数 ・65歳未満 4,648人 ・65歳以上 6,258人</p>
	2011年度 (平成23年度) 計画	<p>【継続 ■ 廃止 □】</p> <p>引き続き実施</p> <p>給付件数 450件</p>	<p>【継続 ■ 廃止 □】</p> <p>引き続き実施</p>
(予算額:千円)	9,900	185,120	1,348,820
備考 (特記事項)			予算額は全体
担当課	障がい福祉課	子育て支援課	障がい福祉課、各支所

ふくやま子育て夢プラン 具体的な事業の実施状況報告書

コード	2-5-8	2-5-9	2-5-10
基本方針	子育て家庭に対する支援の充実	子育て家庭に対する支援の充実	子育て家庭に対する支援の充実
基本施策	子育て家庭に対する経済的な支援	子育て家庭に対する経済的な支援	子育て家庭に対する経済的な支援
具体的な事業	幼児インフルエンザ 予防接種費補助事業	子ども手当（児童手当）	児童扶養手当
事業概要	幼児インフルエンザ予防接種に係る費用の一部を補助します。	中学校修了前までの児童を養育している保護者に対し、手当を支給します。	父母の離婚、父の死亡などにより、父のいない児童を養育している母又は養育者に対し手当を支給します。
2010年度 （平成22年度） 実施内容及び 課題等	<p>【継続 ■ 新規 □】</p> <p>新型と従来の季節性の株を合わせた3価ワクチンを用いて新型インフルエンザ予防接種として実施したため、季節性インフルエンザ予防接種を対象とする本事業は休止した。</p> <p>なお、2011年度はインフルエンザまん延防止・重症化防止を目的に事業を再構築し実施する予定</p>	<p>【継続 ■ 新規 □】</p> <p>●支給額は、中学校修了までの子ども一人につき、月額13,000円</p> <p>●所得制限なし</p> <p>受給者数 40,004人 児童数 67,905人</p>	<p>【継続 ■ 新規 □】</p> <p>●支給額 全部支給 月41,720円 一部支給 月41,710円～ 9,850円 第2子目 5,000円 第3子目以降 3,000円 を加算（所得制限あり）</p> <p>●父子家庭へも制度を拡大した。 （母子の支給要件に準じた扱い）</p> <p>受給者数 4,586人 （内訳） 母子 4,386人 父子 179人 養育者 21人</p>
2011年度 （平成23年度） 計画	<p>【継続 ■ 廃止 □】</p> <p>●1歳から小学校6年生の幼児等の保護者を対象に、季節性インフルエンザ予防接種に要する費用に対して、1回800円を限度に補助（同一年度に2回まで）</p> <p>●補助見込み 800円×2回×26,000人</p>	<p>【継続 ■ 廃止 □】</p> <p>引き続き実施（2011年10月分以降は未定）</p>	<p>【継続 ■ 廃止 □】</p> <p>●2011年4月分から支給額が改定 全部支給 月41,550円 一部支給 月41,540円～ 9,810円</p> <p>●2011年度から、父または母の障がいによる児童扶養手当支給額と障がい基礎年金の子の加算の金額が多い方の制度を児童ごとに選択し受給可能となる</p>
（予算額：千円）	41,600	11,146,890	2,090,007
備考 （特記事項）			
担当課	保健予防課	子育て支援課	子育て支援課

ふくやま子育て夢プラン 具体的な事業の実施状況報告書

コード	2-5-11	2-5-12	2-5-13
基本方針	子育て家庭に対する支援の充実	子育て家庭に対する支援の充実	子育て家庭に対する支援の充実
基本施策	子育て家庭に対する経済的な支援	子育て家庭に対する経済的な支援	子育て家庭に対する経済的な支援
具体的な事業	特別児童扶養手当	障がい児福祉手当	福山市重症心身障がい者福祉年金
事業概要	20歳未満の心身障がい児を監護する父母などに対し、手当を支給します。	20歳未満の精神または身体に重度の障がいをもつ児童に対し、手当を支給します。	身体障がい者手帳、療育手帳、精神障がい者保健福祉手帳を所持する児童(者)に対し、年金を支給します。
2010年度 (平成22年度) 実施内容及び 課題等	<p>【継続 ■ 新規 □】</p> <p>●対象は児童の障がい程度が、おおむね身体障がい者手帳1級～3級、または療育手帳(A)、A、(B)の人(児童が施設に入所している場合を除く)</p> <p>●支給額 1級 月50,750円 2級 月33,800円 (所得制限あり)</p> <p>受給者数 754人</p>	<p>【継続 ■ 新規 □】</p> <p>●対象は常に介護を必要とする20歳未満の重度障がいの人(所得制限あり)</p> <p>●支給額 月14,380円</p> <p>受給者数 257人</p>	<p>【継続 ■ 新規 □】</p> <p>●対象 福山市に引き続き2年以上居住し、身体障がい者手帳1～3級の人、療育手帳(A)、A、(B)の人、精神障がい者保健福祉手帳1、2級の人、障がい年金1、2級の人、その他同程度と認められる人</p> <p>●支給額 年間22,000円 (20歳未満)</p> <p>受給者数 791人(20歳未満)</p>
	2011年度 (平成23年度) 計画	<p>【継続 ■ 廃止 □】</p> <p>受給者数 800人 1級 月50,550円 2級 月33,670円</p>	<p>【継続 ■ 廃止 □】</p> <p>受給者数 265人 月14,330円</p>
(予算額:千円)	—	45,729	197,000
備考 (特記事項)			予算額は全体
担当課	障がい福祉課、各支所	障がい福祉課、各支所	障がい福祉課、各支所

ふくやま子育て夢プラン 具体的な事業の実施状況報告書

コード	2-5-14	2-5-15	2-5-16
基本方針	子育て家庭に対する支援の充実	子育て家庭に対する支援の充実	子育て家庭に対する支援の充実
基本施策	子育て家庭に対する経済的な支援	子育て家庭に対する経済的な支援	子育て家庭に対する経済的な支援
具体的な事業	保育所保育料の多子軽減	幼稚園就園奨励費	就学援助費
事業概要	兄弟姉妹が同時に保育所などへ入所している児童の保育料について、保護者負担の軽減を図ります。	幼稚園に通園する児童の保護者の経済的負担を軽減するため、保育料の免除（公立幼稚園）または、入園料・保育料の一部を補助（私立幼稚園）します。	経済的理由で就学に必要な費用の支払いが困難な人に対して、援助を行います。
2010年度 (平成22年度) 実施内容及び 課題等	【継続 ■ 新規 □】 同時に、同一世帯から保育所、幼稚園、障がい児通園施設などに入所、または児童デイサービスを利用している就学前児童のいる家庭の2人目の児童の保育料を半額、3人目以降の児童の保育料を無料にしている。	【継続 ■ 新規 □】 認定者 3,186人	【継続 ■ 新規 □】 援助の内容は、学校給食費、学用品費、修学旅行費、入学準備費などの費用の一部 認定者 6,372人
	【継続 ■ 廃止 □】	【継続 ■ 廃止 □】 引き続き実施 認定者見込み 3,140人	【継続 ■ 廃止 □】 引き続き実施 認定者見込み 6,151人
2011年度 (平成23年度) 計画	【継続 ■ 廃止 □】	【継続 ■ 廃止 □】 引き続き実施 認定者見込み 3,140人	【継続 ■ 廃止 □】 引き続き実施 認定者見込み 6,151人
(予算額:千円)	—	294,017	342,073
備考 (特記事項)			
担当課	児童部庶務課	学事課	学事課

ふくやま子育て夢プラン 具体的な事業の実施状況報告書

コード	2-5-17 (4-3-3)	2-5-18 (4-3-4)	2-5-19
基本方針	子育て家庭に対する支援の充実	子育て家庭に対する支援の充実	子育て家庭に対する支援の充実
基本施策	子育て家庭に対する経済的な支援	子育て家庭に対する経済的な支援	子育て家庭に対する経済的な支援
具体的な事業	特別支援教育就学奨励事業	情緒・聴覚・言語等障がい児保護者付添交通費補助事業	母子寡婦福祉資金貸付金
事業概要	市立小中学校の特別支援学級へ就学するために必要な経費の一部を援助します。	通園・通学に付添が必要な児童などの保護者に対し、交通費の一部を補助します。	母子家庭の児童などが修学するために必要な学費などの貸付を行うことにより、母子家庭及び寡婦の生活の安定とその児童の福祉の向上を図ります。
2010年度 (平成22年度) 実施内容及び 課題等	<p>【継続 ■ 新規 □】</p> <p>援助の内容は、学校給食費、学用品費、修学旅行費、入学準備費などの費用の一部</p> <p>認定者 692人</p>	<p>【継続 ■ 新規 □】</p> <p>対象者は、障がい児を対象に設置された特別支援学級及び通級指導教室に在籍する園児・児童・生徒を登下校（登降園）及び通級時に介助する該当児の保護者（市内に在住の者）で、交通費の一部を補助する。</p> <p>認定者数 幼稚園 4人 小学校 115人 中学校 15人</p>	<p>【継続 ■ 新規 □】</p> <p>●対象者は、母子家庭の母と児童、寡婦など</p> <p>●貸付金の種類は、修学資金、就学支度資金、修業資金、就職支度資金、技能習得資金、事業開始資金、事業継続資金、医療介護資金、生活資金、住宅資金、転宅資金、結婚資金</p> <p>貸付件数 198件 母子 新規 85件 継続 107件 寡婦 新規 3件 継続 3件</p>
	2011年度 (平成23年度) 計画	<p>【継続 ■ 廃止 □】</p> <p>引き続き実施</p> <p>認定者見込み 493人</p>	<p>【継続 ■ 廃止 □】</p> <p>引き続き実施</p>
(予算額:千円)	17,528	1,500	132,300
備考 (特記事項)			予算額は事務費を含む全体 うち貸付金131,000千円
担当課	学事課	指導課	子育て支援課

ふくやま子育て夢プラン 具体的な事業の実施状況報告書

コード	3-1-1	3-1-2	3-1-3															
基本方針	次代を担う世代の育成	次代を担う世代の育成	次代を担う世代の育成															
基本施策	生きる力を育成する 学校の教育環境の整備	生きる力を育成する 学校の教育環境の整備	生きる力を育成する 学校の教育環境の整備															
具体的な事業	確かな学力の向上	少人数指導推進支援事業	学校評価推進事業															
事業概要	子ども一人ひとりに応じた指導を充実し、基礎基本の習得と、それを活用した思考力、判断力、表現力の向上を図る取組を進めます。	小中学校に少人数指導推進員（非常勤講師）を配置し、国語、算数、数学、英語を基本に、基礎的な学力の定着を図るための少人数指導などの工夫改善に取り組みます。	学校の教育活動全般を評価し、その評価結果について、保護者や地域への説明責任を果たすとともに、本市の学校教育の質的向上を図ります。															
2010年度 (平成22年度) 実施内容及び 課題等	<p>【継続 ■ 新規 □】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●一人ひとりに応じたきめ細かな指導、評価規準や評価方法の工夫・改善を行った。 ●中学校学力向上対策事業、教育研究支援事業、校内研修、公開研究会などを積極的に実施した。 ●福山市研修センターでの教職員研修講座の改善・充実を図った。 <p>「基礎・基本定着状況調査」通過率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>本市平均値</th> <th>県平均値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">小学校</td> <td>国語 81.5%</td> <td>82.3%</td> </tr> <tr> <td>算数 78.8%</td> <td>79.0%</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">中学校</td> <td>国語 76.7%</td> <td>77.4%</td> </tr> <tr> <td>数学 70.5%</td> <td>72.6%</td> </tr> <tr> <td>英語 68.3%</td> <td>70.2%</td> </tr> </tbody> </table>		本市平均値	県平均値	小学校	国語 81.5%	82.3%	算数 78.8%	79.0%	中学校	国語 76.7%	77.4%	数学 70.5%	72.6%	英語 68.3%	70.2%	<p>【継続 ■ 新規 □】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●少人数指導推進員配置校では、児童生徒の実態に応じた習熟度別少人数指導及びチームティーチング等を行った。 ●基礎学力向上のため効果的な指導方法の工夫を行った。 <p>少人数指導推進員（非常勤講師）の配置</p> <p>小学校 30校 中学校 19校</p>	<p>【継続 ■ 新規 □】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●学校では、教育目標実現に向け、PDCAサイクルを機能させ、全教職員が同じ方向性を持って実践した。 ●「自己評価」の精度を高めるため、学区外の保護者や地域住民など第三者による「外部評価」を行った。 ●学校の取組状況が理解しやすいように、目標を焦点化するなど分かりやすい表現にした。
		本市平均値	県平均値															
小学校	国語 81.5%	82.3%																
	算数 78.8%	79.0%																
中学校	国語 76.7%	77.4%																
	数学 70.5%	72.6%																
	英語 68.3%	70.2%																
2011年度 (平成23年度) 計画	<p>【継続 ■ 廃止 □】</p> <p>引き続き実施</p>	<p>【継続 ■ 廃止 □】</p> <p>校内研究を実施し、効果的な指導方法の工夫を図る。 基礎的な学力の定着を見取るための検証を行う。</p>	<p>【継続 ■ 廃止 □】</p> <p>引き続き実施</p> <p>校長のリーダーシップのもと教職員による自己評価を行う。</p>															
(予算額:千円)	1,800	115,789	163															
備考 (特記事項)	目標値の設定あり	目標値の設定あり																
担当課	指導課	指導課	指導課															

ふくやま子育て夢プラン 具体的な事業の実施状況報告書

コード	3-1-4	3-1-5	3-1-6 (3-4-1, 3-5-3)
基本方針	次代を担う世代の育成	次代を担う世代の育成	次代を担う世代の育成
基本施策	生きる力を育成する 学校の教育環境の整備	生きる力を育成する 学校の教育環境の整備	生きる力を育成する 学校の教育環境の整備
具体的な事業	キャリア教育推進事業	英語教育の推進	豊かな心の育成
事業概要	生徒にしっかりとした勤労観や職業観を身に付けさせるため、キャリア教育の推進を図ります。	聞く、話すことに重点を置いた実践的コミュニケーション能力の育成を図るとともに、国際理解教育を推進します。	豊かな体験活動をもとに、子どもの道徳性や自己指導能力を育成し、生涯にわたり、たくましく生きていくための健康・体力づくりを推進します。
2010年度 (平成22年度) 実施内容及び 課題等	<p>【継続 ■ 新規 □】</p> <p>中学校2年生を対象とした「チャレンジ・ウィークふくやま」（地域で進める5日間の職場体験学習）を夏休み中の5日間、全市一斉に実施した。</p> <p>実施期間 8月23日～27日 体験人数 3,754名 受入事業所数 1,433</p>	<p>【継続 ■ 新規 □】</p> <p>英語指導助手（ALT）の増員や小学校、幼稚園への派遣、英語教育の指導力向上のための研修を実施した。</p> <p>英語指導助手（ALT）の人数、派遣回数</p> <p>人数 17人 (うち福山中学校1人常駐)</p> <p>幼稚園へ派遣 114回 小学校へ派遣 1134回 中学校へ派遣 1794回</p>	<p>【継続 ■ 新規 □】</p> <p>●ボランティア活動や乳幼児との交流体験などの社会体験活動、自然体験活動を計画的に実施し、子どもの心に響く道徳教育を実践した。</p> <p>●規律3要素「自ら挨拶をする、時間を守る、学習環境を整える」を示し、落ち着いた学校環境づくりに取り組んだ。</p> <p>●朝食の摂取割合の向上と楽しい給食時間の充実など、食育を推進した。</p> <p>●体力向上ステップアップカードを活用し、健康・体力づくりのための推進計画を作成して実施した。</p>
2011年度 (平成23年度) 計画	<p>【継続 ■ 廃止 □】</p> <p>引き続き実施</p> <p>実施期間 8月22日～26日 体験予定数 約3,950名</p>	<p>【継続 ■ 廃止 □】</p> <p>引き続き実施</p>	<p>【継続 ■ 廃止 □】</p> <p>規律ある学校づくりを推進する。</p> <p>要となる道徳の時間の充実を図る。</p> <p>積極的生徒指導の推進と問題行動への対応を行う。</p>
(予算額:千円)	1,416	99,037	1,911
備考 (特記事項)			
担当課	指導課	指導課	指導課

ふくやま子育て夢プラン 具体的な事業の実施状況報告書

コード	3-1-7	3-1-8	3-1-9
基本方針	次代を担う世代の育成	次代を担う世代の育成	次代を担う世代の育成
基本施策	生きる力を育成する 学校の教育環境の整備	生きる力を育成する 学校の教育環境の整備	生きる力を育成する 学校の教育環境の整備
具体的な事業	園芸センター農業体験	園芸センター親子農業体験教室	不登校児童生徒への取組
事業概要	農業体験を通じて自然や農業にふれ合う場を提供し、児童生徒の豊かな情操を養い、健全な育成を図ります。	農業体験を通じて子どもたちの生きる力を養い、広く市民の農業への理解を深め、あわせて親子のコミュニケーションづくりに役立てます。	児童生徒一人ひとりが安心して生活できるよう、学校における教育相談体制の整備、いじめ・不登校対策の充実を図ります。
2010年度 (平成22年度) 実施内容及び 課題等	【継続 ■ 新規 □】 2010年度は実績なし。	【継続 ■ 新規 □】 5月1日にタマネギの栽培等の講習と収穫体験を実施した。 参加数 95人(27組)	【継続 ■ 新規 □】 ●不登校対策実践指定事業や生徒指導研究推進事業を活用し、学校における不登校への組織的な対応や校区の小中学校の連携など、教育相談体制の充実に取り組んだ。 ●市内小中学校へのスクールカウンセラーの配置や、福山市研修センターでの相談業務による教育相談活動を実施した。 ●適応指導教室「かがやき」や、スクールカウンセリングプロジェクト事業により、不登校児童生徒の学校復帰を目的とした学習指導・支援、体験活動などを実施した。 ●今後、不登校及びその傾向にある児童生徒の内面に目を向けるとともに、児童生徒の社会的自立を図るという視点から、授業改善や体験活動の充実などの魅力ある学校づくり、早期発見・早期対応、学校・学級復帰への支援の3点を視点に各事業の整理を行い、より効果的な取組となるようにしていく必要がある。
	【継続 ■ 廃止 □】 引き続き実施	【継続 ■ 廃止 □】 4月30日にタマネギの栽培等の講習と収穫体験を実施	【継続 ■ 廃止 □】 引き続き実施
2011年度 (平成23年度) 計画			
(予算額:千円)	—	—	12,051
備考 (特記事項)			
担当課	地産地消推進課	地産地消推進課	指導課

ふくやま子育て夢プラン 具体的な事業の実施状況報告書

コード	3-1-11	3-1-12	3-2-2 (2-2-7, 3-6-1)
基本方針	次代を担う世代の育成	次代を担う世代の育成	次代を担う世代の育成
基本施策	生きる力を育成する 学校の教育環境の整備	生きる力を育成する 学校の教育環境の整備	家庭における教育力の向上
具体的な事業	公立幼稚園の再整備	北京市教育交流推進事業	子育て支援交流事業の充実
事業概要	今後の児童数の推移、地域の実態、保護者のニーズに応じた幼稚園の整備を行います。	本市と北京市教育委員会との間で教育交流を行い、生徒と教職員が互いの国のことを知り合うことで、国際的視野や感覚を身に付けます。	公民館やコミュニティセンター・館において、親子のふれあいの場や保護者同士の交流を図り、子育ての悩みを相談できる関係を築くなど、地域で互いに子育てをしていくきっかけづくりを支援します。
2010年度 (平成22年度) 実施内容及び 課題等	<p style="text-align: center;">【継続 ■ 新規 □】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●就学前施設全体での幼稚園の役割、集団保育機能を基本とした効率的な幼稚園運営を推進した。 ●保護者のニーズなどを踏まえ、複数年保育などについて検討することが必要である。 	<p style="text-align: center;">【継続 ■ 新規 □】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●北京市との教育交流では、海淀実験中学校及び首都師範大学附属第二中学校の2校を訪問し、生徒の意欲あふれる行動等に刺激を受け、自分を見つめる機会となった。 <li style="padding-left: 20px;">中学生 18人 高校生 2人 教職員 10人 ●訪問後も各自の学校や公民館等において、映像を活用した報告会を実施した生徒が多く、学んだことを還元することができた。 ●ふくやま学校祭での報告では、生徒や教職員による意見発表、訪問報告等を実施した。 ●まとめとして、報告書を300部作成し、関係機関等に配付した。 	<p style="text-align: center;">【継続 ■ 新規 □】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●全公民館において、年間各館1回以上実施 ●コミュニティセンター・館においては、2006年度から子育て交流事業として実施 ●親同士の交流と育児情報の交換、育児相談等を通しての育児ストレスの解消や親子のふれあいによりコミュニケーションを図った。
2011年度 (平成23年度) 計画	<p style="text-align: center;">【継続 ■ 廃止 □】</p> 引き続き実施	<p style="text-align: center;">【継続 ■ 廃止 □】</p> 引き続き実施	<p style="text-align: center;">【継続 ■ 廃止 □】</p> 引き続き実施
(予算額:千円)	—	4,109	1,057
備考 (特記事項)			目標値の設定あり
担当課	指導課	指導課	生涯学習課, 各生涯学習センター

ふくやま子育て夢プラン 具体的な事業の実施状況報告書

コード	3-3-1 (3-5-2)	3-3-2 (2-2-7)	3-3-3 (3-5-6)
基本方針	次代を担う世代の育成	次代を担う世代の育成	次代を担う世代の育成
基本施策	地域における教育力の向上	地域における教育力の向上	地域における教育力の向上
具体的な事業	自然研修センター事業 (ふくやまふれ愛ランド)	職場体験学習・インターン シップの受け入れ	子どもの居場所づくり事業 (放課後子ども教室の推進)
事業概要	自然環境の中で宿泊研修、野外活動、体験農業、遊びの指導などを通じて、青少年の健全育成を図ります。	中高校生の勤労体験学習を実施しています。	地域の協力を得て、子どもたちが放課後などに安全・安心に過ごせる居場所づくりを行います。
2010年度 (平成22年度) 実施内容及び 課題等	<p>【継続 ■ 新規 □】</p> <p>●宿泊研修、野外活動、体験農業、遊びの指導等を通じた、多様な体験活動の機会の提供等による青少年の健全な育成の推進を図った。</p> <p>●青少年の活動拠点として、積極的な受け入れと活動を展開した。</p> <p>宿泊利用者 25,983人 一日利用者 28,174人 開所日数 337日</p>	<p>【継続 ■ 新規 □】</p> <p>市の公共施設で中高校生の職場体験学習や、インターンシップを実施（「チャレンジ・ウィークふくやま」による受け入れを除く）</p> <p>地産地消推進課 高校生 1人 市民相談課 中学生 2人 人権平和資料館 中学生 1人 中央図書館 高校生 1人 東部図書館 高校生 2人 美術館 高校生 0人 光寿園 0人</p>	<p>【継続 ■ 新規 □】</p> <p>●放課後などに小学校の図書室や空き教室などを利用し、地域住民のボランティアによる安全管理員の指導のもと、交流事業などを実施し、安全・安心な居場所づくりを実施</p> <p>●実施箇所数 36学区</p> <p>●実施校区の拡大、指導者や安全管理員の人材確保などが課題</p>
	2011年度 (平成23年度) 計画	<p>【継続 ■ 廃止 □】</p> <p>引き続き実施</p>	<p>【継続 ■ 廃止 □】</p> <p>引き続き実施</p>
(予算額:千円)	107,471	—	2,912
備考 (特記事項)		※その他の関係部署 市民相談課、農業振興課、光寿園、人権平和資料館、美術館、中央図書館	目標値の設定あり
担当課	青少年課	地産地消推進課 他(※)	生涯学習課、各生涯学習センター

ふくやま子育て夢プラン 具体的な事業の実施状況報告書

コード	3-3-4	3-3-5	3-3-6 (4-3-16)
基本方針	次代を担う世代の育成	次代を担う世代の育成	次代を担う世代の育成
基本施策	地域における教育力の向上	地域における教育力の向上	地域における教育力の向上
具体的な事業	生涯スポーツの振興	ものづくり啓発事業	福山市立大学の設置 (旧市立四年制大学の設置)
事業概要	各種大会の開催、地域への指導者の派遣、指導者の養成、気軽にできるスポーツの普及、学校施設を開放しての地域交流の推進を図ります。	ものづくりを将来的に支える人材育成のための、産業界と大学または各種団体が開催する、ものづくり教室の費用の一部を助成します。	福山市立大学において、地域に根ざした人材の育成、産業の活性化、教育環境の充実を図ります。
2010年度 (平成22年度) 実施内容及び 課題等	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】
	<ul style="list-style-type: none"> ●スポーツ教室等の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・Happyスポーツ塾 ・Jrスポーツ教室 ・スポーツデリバリーサービス ・ふくやまスポーツクラブ ・小学生体験講座 ・夏期スポーツ塾 ・競技力向上事業 ・競技人口拡大事業 ●各種大会行事の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・陸上競技場で遊ぼうDAY ・ローズアリーナフェア ・わくわくヨット教室 ・ふくやまマラソン ・竹ヶ端運動公園水泳場無料開放 ・ふくやま体育の日まつり ・年末年始冬休み子ども体験講座 	<ul style="list-style-type: none"> ●2009年度から、工場見学などを通じて中小企業の技術や特徴的な製品を児童・生徒に知ってもらいながら、その材料を使ってものづくりを体験する教室を実施しています。 ●補助金額 1回につき限度額5万円（対象経費は、会場使用料や材料費など） <p style="text-align: center;">実施件数 7件</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●地域社会が抱える複雑・多様な課題の解決に向けて、地域と連携しながら学際的（分野横断的）な研究を推進し、持続可能な社会の構築に貢献できる豊かな創造性と高い実践的能力を備えた人材育成をめざして、文部科学大臣による「大学設置認可」及び「教職課程認定」並びに厚生労働省中国四国厚生局長による「指定保育士養成施設の指定」を受けた。 ●教育学部では、幅広い教養教育を基盤に、豊かな人間性を備え、未来を担う子どもの発達を乳児期から児童期まで総合的に捉え、一人ひとりの子どもを尊重した指導・支援ができる実践的指導力を持った教育者・保育者の育成を教育目標として、教育研究体制の構築を図った。 ●市立大学の開学に向けて、大学と地域の保育所・幼稚園・学校及び関係施設などが協力し、地域と協働した子育て支援や障がいのある子どもの早期発達支援、保護者に対する相談支援などの官学連携について検討した。
2011年度 (平成23年度) 計画	【継続 ■ 廃止 □】	【継続 ■ 廃止 □】	【継続 ■ 廃止 □】
	引き続き実施	引き続き実施	<ul style="list-style-type: none"> ●2011年4月開学 ●大学の設置の趣旨・目的を踏まえた教育研究活動の実施 ●教育学部における研究推進及び地域支援ワーキンググループの設置並びに具体の検討 ●大学と地域の教育・保育現場との連携体制の構築
(予算額:千円)	11,714	500	—
備考 (特記事項)			
担当課	スポーツ振興課	商工課	福山市立大学事務局学務課

ふくやま子育て夢プラン 具体的な事業の実施状況報告書

コード	3-4-3 (3-5-5)	3-5-4	3-5-7
基本方針	次代を担う世代の育成	次代を担う世代の育成	次代を担う世代の育成
基本施策	次代の親の育成	児童生徒の健全育成の推進	児童生徒の健全育成の推進
具体的な事業	世代間交流事業	児童生徒の健全育成の啓発、指導	子ども議会
事業概要	<p>保育所において老人クラブなどと連携して、高齢者がこれまで培ってきた豊かな知識や経験を子どもたちに伝えられるよう世代間交流を行い、地域の子育て機能の充実を図ります。</p>	<p>福山市学校教育ビジョンⅢに基づく豊かな心の育成をめざし、道徳の時間の充実、積極的生徒指導・問題行動への毅然とした対応や関係機関との連携等により、子どもの健全育成の啓発、指導を行います。</p>	<p>小学校5・6年生及び中学生を対象に、市政に対する意見を募集し、子どもの視点で福山市のまちづくりについての提案・提言を行うことにより、将来の責任ある市民としての権利や義務を正しく理解し、社会参加へ向けた基礎教育の場とします。</p>
2010年度 (平成22年度) 実施内容及び 課題等	<p style="text-align: center;">【継続 ■ 新規 □】</p> <p>●核家族では体験しにくい祖父母や地域の高齢者の温もりを体験するため、伝承遊び・伝統行事の伝承などを通じて世代間のふれあい活動を行うことにより、児童の社会性を養うとともに高齢者とのふれあいを実施した。</p> <p>●職場体験学習の中学生を受け入れ、保育所児童との交流を図った。</p> <p style="text-align: center;">実施箇所数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公立保育所 65箇所 ・私立保育所 54箇所 	<p style="text-align: center;">【継続 ■ 新規 □】</p> <p>●道徳教育では、道徳教育推進者を中心に全体計画を立て、道徳の時間を中心に、重点化した指導を行うとともに、各教科や様々な活動での体験をとおして、道徳性の育成を図る取組を進めた。</p> <p>●生徒指導では、生徒指導主事などを中心とした指導体制のもと、指導基準を明示しての毅然とした指導や関係機関と連携した対応を行うとともに、基礎基本の定着と学力向上に向けた授業改善、児童会・生徒会活動、部活動の活性化、学校行事の工夫など児童生徒の意欲と自主性を促す積極的生徒指導に取り組んだ。</p> <p>●児童生徒の暴力行為や不登校などの実態は改善傾向にはあるものの依然として厳しい状況にあり、これらの取組をさらに充実させる必要がある。</p>	<p style="text-align: center;">【継続 ■ 新規 □】</p> <p>●市内に在籍する小学5・6年生及び中学生46名を「環境・教育・安心安全・福祉・協働のまちづくり」の5つのテーマに分け募集</p> <p>●8/4オリエンテーション, 8/22(ふれ愛ランド宿泊研修)・9/12・9/26事前学習(3回), 10/23リハーサル, 10/31子ども議会開催</p> <p>●5つの委員会、各2問の質問・提案を作成。今年度は再質問実施</p> <p>●答弁者は、市長・教育長・代表質問に関係する局部長</p> <p>●経過は市HP掲載。当日は市HPライブ放映と市民課ロビーでのTVモニター放映、市HPでの報告。また、子ども議員へはDVDを記念品として贈呈。</p> <p>●子ども議員からの提案のうち、可能なものから随時施策反映(毎月29日ふくやま地産地消の日、福山ゆかりの人物の紹介本作製)</p>
2011年度 (平成23年度) 計画	<p style="text-align: center;">【継続 ■ 廃止 □】</p> <p>引き続き実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 公立保育所 62所 私立保育所 56所 	<p style="text-align: center;">【継続 ■ 廃止 □】</p> <p>学校教育ビジョンⅢ及び道徳教育・生徒指導リーフレットに基づき、引き続き実施</p>	<p style="text-align: center;">【継続 ■ 廃止 □】</p> <p>前年度事業に加え、親善友好都市岡崎市生徒市議会との交流を行う。</p>
(予算額:千円)	13,093	—	1,661
備考 (特記事項)			
担当課	保育課	指導課	青少年課

ふくやま子育て夢プラン 具体的な事業の実施状況報告書

コード	3-5-8	3-5-9	3-5-10
基本方針	次代を担う世代の育成	次代を担う世代の育成	次代を担う世代の育成
基本施策	児童生徒の健全育成の推進	児童生徒の健全育成の推進	児童生徒の健全育成の推進
具体的な事業	読書活動推進に向けた整備	子ども読書活動推進 計画策定事業	こどもエコクラブ事業
事業概要	図書館の蔵書の充実と読書に親しむ環境づくりを推進します。	読書活動を通じて、言葉を学んだり、豊かな感性や想像力、表現力を養うため、「子どもの読書活動の推進に関する法律」をふまえ、子どもが自主的に読書活動のできる環境整備を図るための施策の推進に関する本市の「子どもの読書活動推進計画」を策定します。	子どもたちが地域において主体的に、かつ継続的な環境活動・学習を行う機会を提供し、支援します。
2010年度 (平成22年度) 実施内容及び 課題等	<p>【継続 ■ 新規 □】</p> <p>全図書館で、絵本と出会うふれあい事業、あかちゃんといっしょのおはなし会、工作教室などを実施するとともに、関係課との連携により、子どもの読書活動に係る資料の整備・充実を図った。</p>	<p>【継続 ■ 新規 □】</p> <p>パブリックコメントを募集し、策定委員会を開催し、本市の「子ども読書活動推進計画」を策定した。</p>	<p>【継続 ■ 新規 □】</p> <p>子どもたちの環境への関心と理解を深めるため、磯の生き物調査、星空観察会などを実施した。</p> <p>クラブ数 6クラブ 会員数 246人</p> <p>・課題 クラブ数及び会員数の拡大 各クラブ間の交流の充実</p>
2011年度 (平成23年度) 計画	<p>【継続 ■ 廃止 □】</p> <p>全図書館で、絵本と出会うふれあい事業、あかちゃんといっしょのおはなし会、工作教室、小中学校へお勧め本リストの配信などを実施するとともに、関係課との連携により、子どもの読書活動に係る資料の整備・充実を図る。</p>	<p>【継続 □ 廃止 ■】</p>	<p>【継続 ■ 廃止 □】</p> <p>引き続き実施</p> <p>7クラブ300人程度 研修会、自然観察会開催予定</p>
(予算額:千円)	—	—	106
備考 (特記事項)			
担当課	中央図書館	中央図書館	環境啓発課

ふくやま子育て夢プラン 具体的な事業の実施状況報告書

コード	3-5-11	3-5-12	3-5-13
基本方針	次代を担う世代の育成	次代を担う世代の育成	次代を担う世代の育成
基本施策	児童生徒の健全育成の推進	児童生徒の健全育成の推進	児童生徒の健全育成の推進
具体的な事業	環境出前授業	環境教育副読本の作成・配布	社会教育施設に係る入館料、観覧料の高校生以下の無料化
事業概要	子どもたちに環境に関する啓発活動の一環として、学校に出向き、年齢に応じた授業を実施します。	小学校において、環境について興味・関心を持ち学習してもらうため、副読本を作成・配布しています。	芸術文化や郷土の歴史などに親しみ、豊かな人間性や人権感覚を培うための機会を提供します。
2010年度 (平成22年度) 実施内容及び 課題等	<p>【継続 ■ 新規 □】</p> <p>子どもたちの環境への関心と理解を深めるため、ごみ・水・大気など環境全般の問題や水生生物調査などについて、出前授業をした。</p> <p>保育所 9所 幼稚園 2園 小学校 延べ 77校 中学校 延べ 10校</p> <p>※実施状況は環境部全体の数値</p>	<p>【継続 ■ 新規 □】</p> <p>市内の全小学校4年生へ副読本を配布し、4年生から6年生までの3年間において環境に関する授業などで活用した。</p> <p>市立小学校 78校 私立小学校 3校</p>	<p>【継続 ■ 新規 □】</p> <p>●ふくやま美術館などの社会教育施設において、高校生以下の入館料、観覧料を無料化している。また、2009年4月1日より、特別展観覧料も無料化した。</p> <p>(実施施設) 福山市立福山城博物館 ふくやま美術館 ふくやま書道美術館 ふくやま文学館 福山市鞆の浦歴史民俗資料館 福山市しんいち歴史民俗博物館 菅茶山記念館 福山市神辺歴史民俗資料館</p> <p>●ふくやま芸術文化ホール「リーデンローズ」では、ジュニア招待席を設け、学校と連携のもと、小中学生の無料での音楽鑑賞に取り組んだ。</p> <p>●1994年8月の開館より、福山市人権平和資料館の入館料も無料としている。</p>
2011年度 (平成23年度) 計画	<p>【継続 ■ 廃止 □】</p> <p>引き続き実施</p>	<p>【継続 ■ 廃止 □】</p> <p>小学生が分かりやすく、そして学校側のニーズを把握していき、より良い副読本を検討しつつ、引き続き実施</p>	<p>【継続 ■ 廃止 □】</p> <p>引き続き実施</p>
(予算額:千円)	—	1,200	—
備考 (特記事項)			
担当課	環境啓発課	環境啓発課	人権推進課、文化課

ふくやま子育て夢プラン 具体的な事業の実施状況報告書

コード	3-5-14	3-6-3	3-6-4 (1-3-6)
基本方針	次代を担う世代の育成	次代を担う世代の育成	次代を担う世代の育成
基本施策	児童生徒の健全育成の推進	地域との協働による 子育て支援の推進	地域との協働による 子育て支援の推進
具体的な事業	市立動物園	地域住民、民間団体の 子育て力の育成と協働	地域全体で子育てを見守り、 支え合う活動の推進
事業概要	<p>家族ぐるみのレクリエーションの場として、また動物とのふれあいをとおして豊かな情操を養う社会教育施設として、環境教育を実施しています。</p> <p>・入園料 中学生以下は無料（一般300円）</p>	<p>地域子育て支援センターや子育てボランティアの養成などを通じた、地域住民の子育て力の育成や民間団体と市や関係機関などが実施する子育て支援事業の情報交換の推進を図ります。</p>	<p>育児不安や子育て家庭の孤立化を防ぐため、民生委員・児童委員との連携により、地域全体で子育てを見守り、支え合うネットワークづくりを推進します。</p>
2010年度 (平成22年度) 実施内容及び 課題等	<p>【継続 ■ 新規 □】</p> <p>●「生への慈しみを学ぶ、多自然型リフレッシュ空間」を基本テーマに、環境教育や調査研究の場としての機能が果たせるよう、長期的視野に立って、展示施設などを計画的に整備している。2010年度は猛獣舎・小動物舎が完成し、2011年4月にオープンした。</p> <p>●2006年からは、毎年夏休み期間に「夜の動物園」を開催している。</p> <p>●動物たちへの愛着を深めてもらうため、「餌やりタイムの充実」「バックヤード&台所ツアー」「動物病院見学ツアー」「園内ガイドツアー&動物と一緒に写真に写ろう！」などを実施した。</p>	<p>【継続 ■ 新規 □】</p> <p>●子育てボランティア養成講座において、保育所や子育て支援事業の役割について情報を提供した。</p> <p>●ふくやま子育て応援センター「キッズコム」におけるファミリー・サポート・センター事業や各種子育てサークルの実施、子育てボランティアの養成などを通じて、地域住民の子育て力の育成を行った。</p>	<p>【継続 ■ 新規 □】</p> <p>民生委員・児童委員が、子育てに関する情報提供・相談を受けるなどの支援や、子育てサークルや子ども会などの児童健全育成に関する活動に関わっている。</p> <p>また、児童虐待に関して、市や広島県東部こども家庭センターへ相談や通告など連携を図った。</p>
2011年度 (平成23年度) 計画	<p>【継続 ■ 廃止 □】</p> <p>引き続き実施</p>	<p>【継続 ■ 廃止 □】</p> <p>引き続き実施</p>	<p>【継続 ■ 廃止 □】</p> <p>引き続き実施</p>
(予算額:千円)	247,040	—	82,858
備考 (特記事項)		※2011年度から担当課は保育課のみ	
担当課	観光課	保育課、子育て支援課	福祉総務課

ふくやま子育て夢プラン 具体的な事業の実施状況報告書

コード	3-6-5	4-1-1	4-1-2
基本方針	次代を担う世代の育成	援助を必要とする子育て家庭への支援	援助を必要とする子育て家庭への支援
基本施策	地域との協働による子育て支援の推進	児童虐待防止対策の充実	児童虐待防止対策の充実
具体的な事業	地域ポイント制度 (まちづくりパスポート事業)	児童虐待防止等ネットワーク活動の推進	児童虐待防止啓発事業 (オレンジリボンキャンペーン)
事業概要	市内に在住、通学、通勤している小・中・高校生大学生等及びその家族を対象に、地域や市政に対する理解や関心を高め、将来のまちづくりの主役として活躍できるよう、地域活動やボランティア活動などへの参加・参画を促進する機会を提供し、支援します。	行政と関係機関・団体との間で構築したネットワークにより、情報の共有、連携を図る中で、児童虐待の未然防止、早期発見、効果的対応を行います。	虐待の現状を広く知らせ、虐待を防止し、虐待を受けた子どもが幸福になれるようにとの願いが込められた「オレンジリボン」を、「児童虐待防止」の象徴として広めるキャンペーンを推進します。
2010年度 (平成22年度) 実施内容及び 課題等	<p>【継続 ■ 新規 □】</p> <p>行政等が実施する事業のうち、重点政策に沿った講座などでの学習・体験やイベントなどにボランティアとして参加した場合に、参加時間数に応じたポイントを付与し、ポイントに応じて特典を設けた。(特典例：公共施設利用券、ばらの苗・図書カード、映画無料鑑賞など。)</p> <p>2010年度は累計ポイントごとに抽選会を行い特典をプレゼントした。</p> <p>まちづくりパスポート冊子 配布数 15,833部</p>	<p>【継続 ■ 新規 □】</p> <p>福山市児童虐待防止等ネットワーク(要保護児童対策地域協議会)において、市行政23課、関係機関・団体23が連携して、児童虐待の防止、早期発見、早期対応に取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・代表者会議 (7月6日) ・実務者会議 (6月7日) ・実務者研修会の開催 (3月22日) ・ケース会議 (39回) ・虐待通告 (215件) 	<p>【継続 ■ 新規 □】</p> <p>●児童虐待防止推進月間(11月)事業として</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「広報ふくやま」による啓発 ・市民向けリーフレットの作成、配布 ・街頭啓発の実施 (10月31日、11月1日) ・児童虐待防止啓発用懸垂幕の懸垂 (11月中) ・児童虐待防止啓発講演会の開催 (11月8日) <p>●各種イベントでチラシ、ティッシュ、オレンジリボンの配布、オレンジリボン作製講習会を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「健康ふくやま21フェスティバル2010」に参加(10月23日～24日) ・「ふくやま子どもフェスティバル2010」に参加(11月3日) <p>●オレンジリボンの着用を保育所、幼稚園、学校、市行政職員に依頼</p> <p>●本庁舎にオレンジ色の色紙を貼り付け、オレンジリボンを浮き上がらせる「オレンジリボン装飾」を実施</p> <p>●公用車へ啓発用マグネットシールを貼付</p>
	2011年度 (平成23年度) 計画	<p>【継続 ■ 廃止 □】</p> <p>引き続き実施</p>	<p>【継続 ■ 廃止 □】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●引き続き、児童虐待防止のための市民啓発に取り組むほか、ネットワーク関係者の研修を行う。 ●児童虐待防止支援員2人を新たに採用し、支援体制を強化する。 ●育児・栄養等の相談や子育て支援情報の提供により、虐待の未然防止に取り組む。
(予算額:千円)	1,854	※2,420	※2,420
備考 (特記事項)		※児童虐待防止事業[4-1-2]と合算 目標値の設定あり	※児童虐待防止等ネットワーク活動の推進[4-1-1]と合算
担当課	協働のまちづくり課	子育て支援課	子育て支援課

ふくやま子育て夢プラン 具体的な事業の実施状況報告書

コード	4-2-1	4-2-2	4-2-3
基本方針	援助を必要とする子育て家庭への支援	援助を必要とする子育て家庭への支援	援助を必要とする子育て家庭への支援
基本施策	ひとり親家庭等の自立支援の推進	ひとり親家庭等の自立支援の推進	ひとり親家庭等の自立支援の推進
具体的な事業	ひとり親家庭自立支援給付金事業	ひとり親家庭等就業・自立支援センター事業	母子自立支援プログラム策定事業
事業概要	ひとり親家庭の親に対して、就労に有効な資格を取得するための経費の一部の助成や特定の資格を取得する期間に係る給付金を支給し、自立を支援します。	ひとり親家庭の親などに対し、就業支援講習や就業情報の提供などにより、ひとり親家庭の生活の安定と児童福祉の増進を図ります。	児童扶養手当受給者の状況やニーズに応じて、自立支援プログラムを策定し、きめ細かな自立・就労支援を実施します。
2010年度 (平成22年度) 実施内容及び 課題等	<p style="text-align: center;">【継続 ■ 新規 □】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●自立支援教育訓練給付金事業 就労に有効な資格を取得するための経費の一部を助成 支給件数 3件 ●高等技能訓練促進費事業 経済的自立に効果的な資格を取得するために2年以上修業する間の一定の期間について給付金を支給 支給件数 51件 ●入学支援修了一時金 修学期間修了後に支給 支給件数 12件 	<p style="text-align: center;">【継続 ■ 新規 □】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●就業支援事業 2006年12月に無料職業紹介所の許可を受け、家庭の状況、就業経験等に応じた就業相談の実施、就業情報の提供等 相談件数72件 求職件数72件 求人件数78件 紹介件数95件 ●就業支援セミナー・講習会 就業経験の無い人、離職期間が長い人、転職を希望する人等を対象とした、就業支援セミナー等の開催 セミナー 4回 延べ 40人 講習会 12回 延べ118人 ●特別相談事業 養育費の取り決めや生活上の諸問題の解決のため、弁護士による専門相談の実施 3回、4人 ●事業委託先 財団法人福山市母子寡婦福祉連合会 	<p style="text-align: center;">【継続 ■ 新規 □】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●就業・自立支援センター内において、母子プログラム策定員が、児童扶養手当受給者を対象に、自立支援プログラムを策定した。 ●策定数 45件 ●事業委託先 財団法人福山市母子寡婦福祉連合会
	2011年度 (平成23年度) 計画	<p style="text-align: center;">【継続 ■ 廃止 □】</p> <p>引き続き実施</p>	<p style="text-align: center;">【継続 ■ 廃止 □】</p> <p>引き続き実施</p>
(予算額:千円)	70,757	2,342	1,658
備考 (特記事項)			
担当課	子育て支援課	子育て支援課	子育て支援課

ふくやま子育て夢プラン 具体的な事業の実施状況報告書

コード	4-2-4	4-2-5	4-2-6
基本方針	援助を必要とする 子育て家庭への支援	援助を必要とする 子育て家庭への支援	援助を必要とする 子育て家庭への支援
基本施策	ひとり親家庭等の自立支援の推進	ひとり親家庭等の自立支援の推進	ひとり親家庭等の自立支援の推進
具体的な事業	母子生活支援施設	ひとり親家庭等相談事業	ひとり親家庭等への経済的支援
事業概要	母子生活支援施設において、母子家庭やこれに準ずる事情にある家庭の母子を保護するとともに自立を支援します。	家庭児童相談室における相談を充実し、母子家庭などの自立支援を推進します。	ひとり親家庭への経済的支援を行います。
2010年度 (平成22年度) 実施内容及び 課題等	<p>【継続 ■ 新規 □】</p> <p>入所状況 久松寮 7世帯 (15人) 松永寮 0世帯 (0人) 市外委託 6世帯 (14人) ※ 計 13世帯 (29人)</p> <p>※DV被害を被った母子世帯については、市外施設への措置委託を行った。</p>	<p>【継続 ■ 新規 □】</p> <p>●ひとり親家庭自立支援員を4人配置(家庭児童相談員と兼務)し、ひとり親家庭などの自立支援に向けた相談や助言を行った。</p> <p>相談件数 3,432件 (内訳) 母子 3,422件 父子 10件</p> <p>※父子は9月からの統計 ※相談件数には母子寡婦福祉資金の貸付・償還相談を含む</p>	<p>【継続 ■ 新規 □】</p> <p>●児童扶養手当/2-5-10参照 ●ひとり親家庭等医療費助成/2-5-6参照 ●母子及び寡婦福祉資金貸付金/2-5-19参照 (全て再掲)</p>
	2011年度 (平成23年度) 計画	<p>【継続 ■ 廃止 □】</p> <p>引き続き実施</p>	<p>【継続 ■ 廃止 □】</p> <p>引き続き実施し、就業・自立支援センター等関係機関と連携して自立支援を推進する。 ひとり親家庭自立支援員(家庭児童相談員と兼務)1人を増員し、相談体制を強化する。</p>
(予算額:千円)	※61,638	2-2-3に含む	
備考 (特記事項)	<p>※市外施設への措置委託料を含む。(広域措置委託料21,150千円) ●2011年4月1日から、松永寮は休所</p>		
担当課	子育て支援課	子育て支援課	子育て支援課

ふくやま子育て夢プラン 具体的な事業の実施状況報告書

コード	4-2-7	4-3-1	4-3-2
基本方針	援助を必要とする子育て家庭への支援	援助を必要とする子育て家庭への支援	援助を必要とする子育て家庭への支援
基本施策	ひとり親家庭等の自立支援の推進	障がい児施策の充実	障がい児施策の充実
具体的な事業	子どもの健全育成支援事業	障がい児の教育	特別支援教育体制推進事業
事業概要	生活保護世帯に対する自立支援プログラムとして、子どもの高校進学支援や不登校などについて取り組み子どもの健全育成を図ります。	障がいのある幼児、児童、生徒の教育的ニーズを把握し、必要かつ適正な個に応じた教育を推進します。	通常学級に在籍する発達障がいのある幼児、児童、生徒への指導支援を、組織的に進めます。
2010年度 (平成22年度) 実施内容及び 課題等	<p>【継続 ■ 新規 □】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●生活保護世帯の自立を促進するため「自立支援プログラム」を策定し、関係機関と連携を図りながら自立支援に取り組んでいるが、2010年度より新たなプログラムとして「子どもの健全育成支援事業」を策定し、子どもの高校進学支援や不登校などについての取り組んだ。 ●今年度、家庭・教育支援員を2名を配置し学校等とも連携するなかで、CWとともに家庭への個別支援に取り組んだ。また、「子どもの居場所」を開設し、大学生等のボランティアの協力を得て参加した子どもたちの生活や進路支援を行なった。 <p>「子どもの居場所」開設回数 39回</p>	<p>【継続 ■ 新規 □】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●児童生徒の実態や就学前施設などでの状況、こども家庭センター、医療機関などと連携した総合的な判断による就学指導を行った。 ●特別支援学級、通級指導教室において、実態に応じた教育内容を工夫した指導を行った。 ●介助員、障がい児指導員を配置し、よりきめ細かな指導・支援を行った。 ●発達障がいのある児童生徒への理解と対応について、教職員の資質向上のための研修を実施した。 ●より適切な実態把握に基づく、個別の指導計画の作成について指導した。 	<p>【継続 ■ 新規 □】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●市立の全ての幼稚園、小学校、中学校、高等学校で特別支援教育コーディネーターの指名と校内委員会の設置が行われ、学校全体での組織的な推進体制が確立された。 ●発達障がいの理解や校内体制づくりについて、特別支援教育コーディネーター（年間4回）、学校支援員（年間2回）等の研修を実施した。コーディネーター研修においては、発達に視点をおいた児童生徒理解と発達課題に対応した授業改善の公開研究会を研修に位置づけて具体的な実践に学ぶことができた。 ●巡回相談事業（年間）を実施し、校内研修や児童生徒の指導・支援について共通理解を図った。
	2011年度 (平成23年度) 計画	<p>【継続 ■ 廃止 □】</p> <p>2011年度も子どものいる家庭への個別支援や「子どもの居場所」開設の取組を継続し、支援対象者が多い中、家庭・教育支援員以外にも「家庭訪問員（仮称）」を配置し取組の拡大と充実を検討している。</p>	<p>【継続 ■ 廃止 □】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●総合的な判断による適切な就学指導の実施 ●特別支援学級、通級指導教室において、個別の指導計画に基づき、教育内容を工夫した指導の実施 ●介助員、障がい児指導員の配置 ●発達障がいの理解と、教職員の資質向上のための研修の実施
(予算額:千円)	7,278	790	78,863
備考 (特記事項)			目標値の設定あり
担当課	生活福祉課	指導課	指導課

ふくやま子育て夢プラン 具体的な事業の実施状況報告書

コード	4-3-6	4-3-7	4-3-8
基本方針	援助を必要とする子育て家庭への支援	援助を必要とする子育て家庭への支援	援助を必要とする子育て家庭への支援
基本施策	障がい児施策の充実	障がい児施策の充実	障がい児施策の充実
具体的な事業	障がい児保育	ことばの相談室	療育相談・療育支援システム
事業概要	障がいのある児童の保育を保障するため、保育所での障がい児保育を行います。	言語の発達に課題がある児童を専門的に指導援助し、その軽減、克服を図ります。	疾病や障がいを早期に発見し、適切な支援が行える体制の整備を行います。
2010年度 (平成22年度) 実施内容及び 課題等	<p style="text-align: center;">【継続 ■ 新規 □】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●保育希望があり、集団保育が可能な児童について実施した。 ●児童の発達保障において、療育機関などとの連携を図りながら、保育内容の充実に取り組んだ。 <p>2010年度手帳取得児童 60人 その他課題のある児童 1,478人</p>	<p style="text-align: center;">【継続 ■ 新規 □】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●発音などについて保育所、幼稚園で専門的な指導・支援を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・実施箇所 保育所 4所 幼稚園 4園 ・利用人数 保育所 735人(延回数3,869) 幼稚園 668人(延回数4,526) ●福山市全体での有効な利用ができるよう、保幼ことばの相談室の交流を実施している。 ●ことばのみではなく、発達全般の相談や保護者への支援の充実が求められている。 	<p style="text-align: center;">【継続 ■ 新規 □】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●保健事業実施課(健康推進課・松永保健福祉課・北部保健福祉課・東部保健福祉課・神辺保健福祉課・沼隈支所保健福祉担当)において、心理相談員・保育士・保健師による療育相談を実施した。 ●一人ひとりの課題に応じて、関係機関と連携した一体的な支援(療育支援システム)を実施した。
2011年度 (平成23年度) 計画	<p style="text-align: center;">【継続 ■ 廃止 □】</p> <p>引き続き実施</p>	<p style="text-align: center;">【継続 ■ 廃止 □】</p> <p>引き続き実施</p> <p>実施箇所 公立保育所 4所 公立幼稚園 4園</p>	<p style="text-align: center;">【継続 ■ 廃止 □】</p> <p>引き続き実施</p> <p>未参加の児・保護者に対しては、相談事業の利用勧奨や訪問等により適切な支援を行う。</p>
(予算額:千円)	50,097	—	2,817
備考 (特記事項)			
担当課	保育課	保育課, 指導課	健康推進課

ふくやま子育て夢プラン 具体的な事業の実施状況報告書

コード	4-3-9	4-3-10	4-3-11
基本方針	援助を必要とする 子育て家庭への支援	援助を必要とする 子育て家庭への支援	援助を必要とする 子育て家庭への支援
基本施策	障がい児施策の充実	障がい児施策の充実	障がい児施策の充実
具体的な事業	障がい福祉サービス等の充実	障がい児通園施設利用者 負担軽減事業	重症心身障がい児(者)通園事業
事業概要	障がいのある児童への早期療育や居宅サービスの支援を行うことで、児童の発達を支援するとともに保護者の負担を軽減します。	障がいのある児童への早期療育を進め、保護者の負担を軽減します。	在宅重症心身障がい児(者)に対し通園の方法により療育を行うとともに保護者等に療育技術を指導します。
2010年度 (平成22年度) 実施内容及び 課題等	<p>【継続 ■ 新規 □】</p> <p>障害者自立支援法による、児童デイサービスや日中一時支援などのサービスを提供している。</p> <p>居宅介護 43人 行動援護 15人 児童デイサービス 317人 短期入所 32人 移動支援 73人 日中一時支援 150人 (2011年3月利用分の実人数)</p>	<p>【継続 ■ 新規 □】</p> <p>●障がい児通園施設を利用する際の食事負担を軽減している。</p> <p>●障がい児通園施設や児童デイサービスと保育所や幼稚園を併せて利用する場合に、障がい児通園施設や児童デイサービスの利用者負担相当額を助成している。</p>	<p>【継続 ■ 新規 □】</p> <p>重症心身障がい児施設へ委託して実施している。</p> <p>福祉と医療の専門スタッフが、日中活動や運動機能に係る訓練や指導をし、運動機能の低下を防止するとともに、地域の関係機関とも連携して家庭での指導支援を行っている。</p>
2011年度 (平成23年度) 計画	<p>【継続 ■ 廃止 □】</p> <p>引き続き実施</p>	<p>【継続 ■ 廃止 □】</p> <p>引き続き実施</p>	<p>【継続 ■ 廃止 □】</p> <p>引き続き実施</p>
(予算額:千円)	4,697,580	4,102	16,170
備考 (特記事項)	予算額は、居宅介護事業費、施設介護事業費、移動支援事業費、日中一時支援事業費の合計(障がい者分も含む)		
担当課	障がい福祉課	障がい福祉課	障がい福祉課

ふくやま子育て夢プラン 具体的な事業の実施状況報告書

コード	4-3-12	4-3-13	4-3-14
基本方針	援助を必要とする子育て家庭への支援	援助を必要とする子育て家庭への支援	援助を必要とする子育て家庭への支援
基本施策	障がい児施策の充実	障がい児施策の充実	障がい児施策の充実
具体的な事業	水中活動モデル講座	障がい者等相談支援事業 (障がい者総合相談室・子ども発達相談室)	障がい児等療育支援事業
事業概要	障がい児(者)の身体機能の向上を図るために、研修を実施します。	福山市指定相談支援事業所2事業所と、福山すこやかセンター障がい者総合相談室・子ども発達相談室において、児童に関する支援を実施しています。	在宅障がい児(者)のライフステージに応じた地域での生活を支援するため、療育訓練を実施しています。
2010年度 (平成22年度) 実施内容及び 課題等	<p style="text-align: center;">【継続 ■ 新規 □】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●オープン参加型講座(5回) 講義、実技指導、ヘルパー研修 ●オープン参加型講座修了者のためのフォローアップ研修(1回) ●育成された指導者による実技指導(9団体 27回) ●ボランティア養成講座(1回) ●実技指導マニュアル作成 	<p style="text-align: center;">【継続 ■ 新規 □】</p> 発達に関する相談件数 621件	<p style="text-align: center;">【継続 ■ 新規 □】</p> 重症心身障がい児(者)、知的障がい児(者)、身体障がい児(者)に対する、訪問療育、外来療育と施設での支援を行った。 5,907件
2011年度 (平成23年度) 計画	<p style="text-align: center;">【継続 ■ 廃止 □】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●水中活動講座(6回) ●団体(障がい児者・高齢者)水泳指導 ●ボランティア養成講座実施 	<p style="text-align: center;">【継続 ■ 廃止 □】</p> 引き続き実施	<p style="text-align: center;">【継続 ■ 廃止 □】</p> 引き続き実施
(予算額:千円)	15,385	65,102	15,909
備考 (特記事項)	<ul style="list-style-type: none"> ●予算額は水中活動事業の全体額 ●2011年度より事業名を「水中活動事業」に変更 ●2011年度より担当課を障がい福祉課に変更 	予算額は、障がい者分も含む	予算額は、障がい者分も含む
担当課	障がい福祉課	障がい福祉課	障がい福祉課

ふくやま子育て夢プラン 具体的な事業の実施状況報告書

コード	4-3-15	5-1-1	5-1-2
基本方針	援助を必要とする 子育て家庭への支援	子育て家庭にやさしい 安全・安心な生活環境の整備	子育て家庭にやさしい 安全・安心な生活環境の整備
基本施策	障がい児施策の充実	安全で、安心して子育てができる まちづくりの推進	安全で、安心して子育てができる まちづくりの推進
具体的な事業	発達障がい児の支援	ユニバーサルデザインの推進	都市公園安全・安心の取組
事業概要	幼児期における発達の障がいを 早期に見出し、適切な支援につな げるための拠点として、(仮称) こども発達支援センターの整備に 向け取り組みます。	年齢、性別、国籍、障がいの有 無等に関らず、すべての人が快適 な暮らしができる社会をめざし、 総合的かつ効果的にユニバーサル デザインを推進します。	乳幼児や高齢者まで、誰もが安 心・安全に利用できるよう、既設 公園の園路についてバリアフリー 化を推進します。
2010年度 (平成22年度) 実施内容及び 課題等	<p style="text-align: center;">【継続 ■ 新規 □】</p> <p>●近年、発達に課題があることにより支援を必要とする児童が増加傾向にある中、県東部には発達障がいに関する総合的な専門機関がなく、早期の体制の整備が求められている。</p> <p>●2010年度においては、整備内容等を具体化するために、(仮称)こども発達支援センター整備準備委員会を設置し、専門医や学識経験者等から意見を求め、関係市町と連携を図る中で「(仮称)こども発達支援センター整備基本計画」を策定した。</p>	<p style="text-align: center;">【継続 ■ 新規 □】</p> <p>●イベントなどでの啓発パネルやユニバーサルデザイン製品の展示、各種研修会での啓発、資料を活用しての学習など、さまざまな機会をとおしてユニバーサルデザインの考え方の普及に努めた。</p> <p>●ユニバーサルデザインの視点に立ち、ハード面、ソフト面ともにユニバーサルデザインの考え方を取り入れた施策を推進し、市民の利便性の向上や安全確保を行っている。</p>	<p style="text-align: center;">【継続 ■ 新規 □】</p> <p>公園園路の段差を解消し、ベビーカーや車椅子などの通行を容易とするため、2009年度のばら公園の園路改修に続き、春日池公園の園路改修を実施した。</p>
2011年度 (平成23年度) 計画	<p style="text-align: center;">【継続 ■ 廃止 □】</p> <p>「(仮称)こども発達支援センター整備基本計画」に基づき、整備予定場所である福山市保健センターの改修工事に着手するとともに、支援ネットワーク構築に向けて、関係機関と連携を図る。</p>	<p style="text-align: center;">【継続 ■ 廃止 □】</p> <p>引き続き実施</p>	<p style="text-align: center;">【継続 ■ 廃止 □】</p> <p>2010年度に引き続き、春日池公園の園路改修を実施</p>
(予算額:千円)	103,217	—	46,000
備考 (特記事項)			
担当課	保健福祉政策課	人権推進課	公園緑地課

ふくやま子育て夢プラン 具体的な事業の実施状況報告書

コード	5-1-3	5-1-4	5-1-5
基本方針	子育て家庭にやさしい 安全・安心な生活環境の整備	子育て家庭にやさしい 安全・安心な生活環境の整備	子育て家庭にやさしい 安全・安心な生活環境の整備
基本施策	安全で、安心して子育てができる まちづくりの推進	安全で、安心して子育てができる まちづくりの推進	安全で、安心して子育てができる まちづくりの推進
具体的な事業	歩道整備事業	生活安全モデル地域の指定	市営住宅入居専用枠の設定
事業概要	子どもや高齢者、障がいのある人などの利用に配慮した、人に優しい、安全性の高い歩道の整備を計画的に取り組みます。	生活安全モデル地域を指定し、犯罪のない安心して子育てができる安全なまちづくりを地域ぐるみで推進します。	子育て、母子、障がい者、高齢者世帯など、住宅に困窮している世帯に対して的確な供給を図ります。
2010年度 (平成22年度) 実施内容及び 課題等	<p>【継続 ■ 新規 □】</p> <p>2010年度は2地区5路線を整備した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●東福山地区 (手城蔵王線, 手城三吉線, 停車場裏古地線) ●福山駅周辺地区 (草戸松浜線, 御船三吉1号線) 	<p>【継続 ■ 新規 □】</p> <p>住民参加のもと、安心して安全に暮らせる地域づくりを推進する地域をモデル地域に指定し、年額10万円×2年間を助成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●継続3地域 2年目 (坪生, 松永, 神辺学区) ●新規3地域 1年目 (新涯, 津之郷, 駅家学区) 	<p>【継続 ■ 新規 □】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●少子高齢化に対応するため、市営住宅に子育て・障がい者・高齢者世帯専用枠を確保し、入居の優遇を図った。
2011年度 (平成23年度) 計画	<p>【継続 ■ 廃止 □】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●交通安全施設整備 ・東福山地区(手城蔵王線, 手城三吉線, 停車場裏古地線) ・福山駅周辺地区(草戸松浜線, 御船三吉1号線) ●自転車走行空間整備 福山駅箕島線, 福山駅手城線, 北吉津曙線, 地吹大渡線, 伏見旭町1号線 ●自転車走行空間整備計画を策定予定 	<p>【継続 ■ 廃止 □】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●継続3地域 2年目 (新涯, 津之郷, 駅家学区) ●新規3地域 	<p>【継続 ■ 廃止 □】</p> <p>引き続き実施</p>
(予算額:千円)	250,000	600	—
備考 (特記事項)			
担当課	道路整備課	生活安全推進課	住宅課

ふくやま子育て夢プラン 具体的な事業の実施状況報告書

コード	5-2-1	5-2-2	5-2-3
基本方針	子育て家庭にやさしい安全・安心な生活環境の整備	子育て家庭にやさしい安全・安心な生活環境の整備	子育て家庭にやさしい安全・安心な生活環境の整備
基本施策	子どもを犯罪等の被害から守るための活動の推進	子どもを犯罪等の被害から守るための活動の推進	子どもを犯罪等の被害から守るための活動の推進
具体的な事業	生活安全パトロール車による子ども見守り事業	地域青色防犯パトロール実施団体支援事業	地域における子どもや市民の安全確保体制の支援
事業概要	公用車両に青色回転灯、放送設備を装備し、公務連絡経路などにおいて、防犯・交通安全などの街頭啓発を実施するほか、不審者情報に対する対応など、子どもの見守り活動を行います。	子どもの見守りなど高齢者などによる地域における自主防犯パトロールの充実にむけ、地域青色防犯パトロール実施団体に対し、パトロール車両に装備する青色回転灯、放送設備等を貸与します。	地域における安全確保のための注意や対策が必要と思われる不審者情報・災害情報などを提供することにより、地域における子どもや市民の安全確保体制を支援します。
2010年度 (平成22年度) 実施内容及び 課題等	<p>【継続 ■ 新規 □】</p> <p>●生活安全パトロール車16台による子どもの見守り、交通安全啓発及び防犯啓発活動を実施した。</p> <p>●通学路や危険個所のパトロール、不審者情報に基づく重点巡回パトロールを実施した。</p>	<p>【継続 ■ 新規 □】</p> <p>地域青色防犯パトロール活動により、子どもの見守りなどを実施している学区（9学区12台）に青色回転灯や放送設備などを貸与した。</p> <p>実施学区 幕山、長浜、久松台、坪生東村、明王台、山南、網引野々浜</p>	<p>【継続 ■ 新規 □】</p> <p>情報提供用ファックスを各学（地）区自治会（町内会）連合会長宅へ貸与し、不審者情報・災害情報などを提供した。</p> <p>全学（地）区数 80学区 設置学（地）区数 80学区</p>
2011年度 (平成23年度) 計画	<p>【継続 ■ 廃止 □】</p> <p>引き続き実施</p>	<p>【継続 ■ 廃止 □】</p> <p>引き続き実施</p>	<p>【継続 ■ 廃止 □】</p> <p>引き続き実施</p>
(予算額:千円)	—	133	250
備考 (特記事項)			
担当課	生活安全推進課、各支所 中部生涯学習センター	生活安全推進課	協働のまちづくり課

ふくやま子育て夢プラン 具体的な事業の実施状況報告書

コード	5-2-4	5-2-5	5-2-6
基本方針	子育て家庭にやさしい安全・安心な生活環境の整備	子育て家庭にやさしい安全・安心な生活環境の整備	子育て家庭にやさしい安全・安心な生活環境の整備
基本施策	子どもを犯罪等の被害から守るための活動の推進	子どもを犯罪等の被害から守るための活動の推進	子どもを犯罪等の被害から守るための活動の推進
具体的な事業	保育所の危機管理体制の確立	保育所、幼稚園、放課後児童クラブの緊急通報システムの活用	幼稚園、学校の危機管理体制の確立
事業概要	保育所の危機管理体制を確立し、子どもの安全確保に努めます。	保育所、幼稚園、放課後児童クラブにおける不審者の侵入や事故などに備えて、児童の安全を確保するため、緊急通報システムを活用し、安全対策の態勢強化を図ります。	幼稚園、学校、地域が一体となった危機管理体制を確立し、子どもの安全確保に努めます。
2010年度 (平成22年度) 実施内容及び課題等	<p style="text-align: center;">【継続 ■ 新規 □】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「福山市保育カリキュラム」や「こども安心安全啓発ガイドブック／えがおでたいま！」を活用して、子どもの発達に応じた安全意識の向上を図った。 ●保育所へ不審者情報を提供することにより、安全保育に努めるとともに、送迎時、保護者へ周知し安全確保を図った。 	<p style="text-align: center;">【継続 ■ 新規 □】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●2006年度から、保育所・幼稚園及び放課後児童クラブの緊急通報システムを活用した安全対策を実施した。 ●2009年度配備施設数 保育所 市立67施設 私立50施設 幼稚園 市立20施設 私立21施設 放課後児童クラブは2009年度から72施設配備 2010年度も同数 	<p style="text-align: center;">【継続 ■ 新規 □】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「危機管理マニュアル」による安全性の確保を図った。 ●小学校の緊急通報システムを活用した、緊急時対応訓練を実施した。 ●保護者や地域のボランティアによる登下校時の見守りを始め、教育活動全般を支援する「スクールサポートボランティア事業」を実施した。 ●児童生徒による地域安全マップ作成を推進した。
2011年度 (平成23年度) 計画	<p style="text-align: center;">【継続 ■ 廃止 □】</p> <p>引き続き実施</p>	<p style="text-align: center;">【継続 ■ 廃止 □】</p> <p>引き続き実施</p>	<p style="text-align: center;">【継続 ■ 廃止 □】</p> <p>引き続き実施</p>
(予算額:千円)	—	2,287	604
備考 (特記事項)		予算額は社会教育振興課	
担当課	保育課	児童部庶務課、指導課 社会教育振興課	指導課

ふくやま子育て夢プラン 具体的な事業の実施状況報告書

コード	5-2-7	5-2-8	5-2-9
基本方針	子育て家庭にやさしい安全・安心な生活環境の整備	子育て家庭にやさしい安全・安心な生活環境の整備	子育て家庭にやさしい安全・安心な生活環境の整備
基本施策	子どもを犯罪等の被害から守るための活動の推進	子どもを犯罪等の被害から守るための活動の推進	子どもを犯罪等の被害から守るための活動の推進
具体的な事業	児童生徒安全確保対策	通学時安全確保対策	地域における危機管理体制の確立
事業概要	不審者情報を、受信希望者に電子メールで配信します。	小学校新生児に防犯ブザーやランドセル用防犯ブザーストラップを配付します。	地域における危機管理体制を確立し、子どもの安全確保に努めます。
2010年度 (平成22年度) 実施内容及び課題等	<p>【継続 ■ 新規 □】</p> <p>教育委員会で把握した不審者情報を、保護者、教育関係団体及び地域の各種団体の受信希望者に対し、携帯電話などに電子メールで配信した。</p>	<p>【継続 ■ 新規 □】</p> <p>●小学校新生児に、防犯ブザーやランドセル用防犯ブザーストラップ、ランドセルシールを配付した。</p> <p>●配付時に、取り扱いについて指導し、児童が危険から自分を守ることのできる危険回避能力を育成した。</p> <p>・防犯ブザー 4,450個 ・ランドセル用防犯ブザーストラップ 4,450本(950本は在庫対応) ・ランドセルシール 4,450枚(全て在庫対応)</p>	<p>【継続 ■ 新規 □】</p> <p>各学区の青少年補導員協議会・まちづくり推進委員会の構成団体や地域住民と連携を図りながら、登下校時の見守りや、不審者情報の共有化を図るとともに、非行防止・環境浄化を中心とした補導活動など、地域におけるパトロールを実施した。</p>
2011年度 (平成23年度) 計画	<p>【継続 ■ 廃止 □】</p> <p>●不審者情報の迅速な配信</p> <p>●メール配信登録者増に向けての取組</p>	<p>【継続 ■ 廃止 □】</p> <p>引き続き実施</p> <p>・防犯ブザー 4,500個 ・ランドセル用防犯ブザーストラップ 4,500本 ・ランドセルシール 4,500枚(予算なし在庫対応)</p> <p>※対象は2012年4月入学予定児童</p>	<p>【継続 ■ 廃止 □】</p> <p>地域における子どもの安全確保のため、関係機関・団体や地域住民に対して、先進的な取組事例などを情報提供するとともに、広く市民に周知を図り、子どもの安心・安全や地域防犯に対する意識の高揚に取り組む。</p> <p>関係機関・団体等や関係部署と連携を図りながら、これまでの事業を継続しながら、さらに充実・強化する。</p>
(予算額:千円)	1,298	1,913	2,655
備考 (特記事項)	※その他の関係部署 児童部庶務課、学事課、学校保健課、青少年課、社会教育振興課、地域振興課、協働のまちづくり課		
担当課	指導課 他(※)	指導課	青少年課

ふくやま子育て夢プラン 具体的な事業の実施状況報告書

コード	5-2-10	5-2-11	5-2-12
基本方針	子育て家庭にやさしい安全・安心な生活環境の整備	子育て家庭にやさしい安全・安心な生活環境の整備	子育て家庭にやさしい安全・安心な生活環境の整備
基本施策	子どもを犯罪等の被害から守るための活動の推進	子どもを犯罪等の被害から守るための活動の推進	子どもを犯罪等の被害から守るための活動の推進
具体的な事業	通学路沿い公共施設安全対策事業	地域安全マップ普及推進事業	非行防止活動の推進
事業概要	通学路沿いの公共施設に防犯カメラシステムを設置し、通学途中の児童などの防犯を図ります。	地域における犯罪を未然に防止するため、地域安全マップ作成を推進します。	関係機関・団体などと連携して非行防止活動を推進します。
2010年度 (平成22年度) 実施内容及び 課題等	<p>【継続 ■ 新規 □】</p> <p>通学路沿いの公共施設3か所に、防犯カメラシステム（防犯灯・カメラ・緊急ボタンの3点セット）を設置し、児童・生徒等の安全確保とともに、地域の安全対策を図った。</p> <p>2010年度設置場所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長浜学区 一つ橋公園 ・蔵王学区 蔵王公園 ・松永学区 JR松永駅西 松永跨線橋下 	<p>【継続 ■ 新規 □】</p> <p>●地域における犯罪を未然に防止するため、市内全学区を対象に、「地域安全マップ作成セミナー」を開催した。</p> <p>6月13日 参加者 38人</p> <p>●「地域安全マップ作成品・教材ビデオ」の貸出し・指導者の派遣を行い、地域における安全マップ作成を推進した。</p> <p>派遣 2回, グッズ貸出5回</p>	<p>【継続 ■ 新規 □】</p> <p>●関係機関・団体等に対し、情報提供を実施するとともに、連携強化を図る中で活動支援を実施した。</p> <p>●青少年補導員協議会や中央少年補導員協議会等を対象とした会議・研修会を実施した。</p>
2011年度 (平成23年度) 計画	<p>【継続 ■ 廃止 □】</p> <p>2006～2010年度実施分(15台)に加え、2011年度も新たに防犯カメラシステムを設置することにより、児童・生徒等の安全を確保するとともに、地域の安全対策について検討する。</p>	<p>【継続 ■ 廃止 □】</p> <p>引き続き実施</p>	<p>【継続 ■ 廃止 □】</p> <p>引き続き実施</p>
(予算額:千円)	2,706	—	—
備考 (特記事項)			
担当課	青少年課	青少年課	青少年課

ふくやま子育て夢プラン 具体的な事業の実施状況報告書

コード	5-2-13	5-3-1	5-4-1
基本方針	子育て家庭にやさしい安全・安心な生活環境の整備	子育て家庭にやさしい安全・安心な生活環境の整備	子育て家庭にやさしい安全・安心な生活環境の整備
基本施策	子どもを犯罪等の被害から守るための活動の推進	子どもを取り巻く有害環境対策の推進	子どもの交通安全を確保するための活動の推進
具体的な事業	「こども110番の家」推進事業	社会環境浄化活動の推進	交通安全教室
事業概要	子どもを犯罪などの被害から守るため、市内全学区に「こども110番の家」の活動を実施し、地域の住民と連携して、子どもを被害から守る活動の支援を行います。	行政、関係機関、関係団体などが連携を強化するなかで、家庭、学校、地域が一体となって、青少年の健全育成に取り組みます。	小学校の入学児童や保育所・幼稚園の入所(園)児童を対象にした、交通安全教室や移動交通安全教室などを開催し、交通安全意識の普及啓発を行います。
2010年度 (平成22年度) 実施内容及び 課題等	<p style="text-align: center;">【継続 ■ 新規 □】</p> <p>●地域での活動に対する支援の推進を図るため「青少年センターだより」を発行し、学区青少年補導員と110番の家に配布し、情報の共有化と運動の進展を図った。</p> <p style="text-align: center;">協力軒数5,948軒</p> <p>●自主的に「こども110番事業」に取り組んでいる市内の民間事業者等と「こども110番事業ネットワーク会議」を開催し、情報の共有化・啓発活動に努めた。「いきいき福山」(市広報テレビ番組)紹介、ばら祭事業所ウオーラリー。</p> <p>●ばら祭等イベントでパネル展示等ブース出展を行い、市民の安全意識の高揚に努めた。</p> <p>●各学区110番の家、110番事業所の実態調査実施。</p>	<p style="text-align: center;">【継続 ■ 新規 □】</p> <p>●少年社会環境浄化モニターによる、ゲームソフト販売店の実態調査を実施した。</p> <p style="text-align: center;">センター立入調査 12店舗</p> <p>●関係機関・団体等と連携する中で、白ポストの改修、娯楽施設等への協力依頼、自販機・図書類販売者への立入調査(県委譲事務)等、青少年を取り巻く社会環境の浄化諸事業を実施した。</p>	<p style="text-align: center;">【継続 ■ 新規 □】</p> <p>交通公園などでの参加・体験・実践型の交通安全教室や、交通安全教育専門員の派遣による移動交通安全教室、交通安全ファミリーランドを開催した。</p> <p style="text-align: center;">交通安全教室 開催回数 442回 参加者数 延べ55,357人</p>
2011年度 (平成23年度) 計画	【継続 ■ 廃止 □】 引き続き実施	【継続 ■ 廃止 □】 引き続き実施	【継続 ■ 廃止 □】 引き続き実施
(予算額:千円)	62	—	10,733
備考 (特記事項)			
担当課	青少年課	青少年課	生活安全推進課

ふくやま子育て夢プラン 具体的な事業の実施状況報告書

コード	5-4-2	5-4-3
基本方針	子育て家庭にやさしい 安全・安心な生活環境の整備	子育て家庭にやさしい 安全・安心な生活環境の整備
基本施策	子どもの交通安全を 確保するための活動の推進	子どもの交通安全を 確保するための活動の推進
具体的な事業	チャイルドシート着用の啓発	自転車利用者対策事業
事業概要	乳幼児の安全確保のため、チャイルドシートの正しい着用の徹底について啓発を行います。	安心して安全に暮らせる都市づくりに向け、関係機関・団体との連携により、自転車所有者、利用者への指導・啓発活動を推進します。
2010年度 (平成22年度) 実施内容及び 課題等	<p>【継続 ■ 新規 □】</p> <p>四季の交通安全運動や各種イベントなどにおいて、シートベルト及びチャイルドシートの正しい着用の徹底を広報・啓発した。</p>	<p>【継続 ■ 新規 □】</p> <p>●街頭指導・啓発活動は市内全域において、特に自転車利用者の多い場所や盗難の多い場所を選択し、関係機関・団体などと協議するなかで、5・7・9・11・1月の5回、各10箇所主要交差点等で自転車利用者に対する指導・啓発を実施した。</p> <p>●啓発チラシだけでは効果が少ないため、交通安全、防犯用グッズを配布、取付けすることで自転車利用者の意識を変え、周辺の人たちへも広げていき効果をあげていくことが必要である。</p>
2011年度 (平成23年度) 計画	<p>【継続 ■ 廃止 □】</p> <p>引き続き実施</p>	<p>【継続 ■ 廃止 □】</p> <p>引き続き実施</p> <p>特に、中学校、高等学校を対象に自転車の安全な乗り方教室等を実施</p>
(予算額:千円)	300	2,000
備考 (特記事項)		
担当課	生活安全推進課	生活安全推進課

ふくやま子育て夢プラン

2011年度(平成23年度)新規事業

(新規事業)

コード	3-5-15	3-5-16
基本方針	次代を担う世代の育成	次代を担う世代の育成
基本施策	児童生徒の健全育成の推進	児童生徒の健全育成の推進
具体的な事業	福山市環境学習推進校事業	まんが本 「まんが福山の歴史」 「(仮称)福山を知ローゼ」
事業概要	<p>福山市の環境教育及び環境学習をより一層推進するために、学校を中心として保護者と地域が協働して、地域の特性を活かした地球環境の保全及び創造に関する活動の普及を図るため、市内小中学校から環境学習推進校を指定します。</p>	<p>●まんが本「まんが福山の歴史」の配布 福山の成り立ちをまんがで分かりやすく描いた「まんが物語福山の歴史」(改訂版)を小学校5・6年生の各学級及び特別支援学級へ配布します。</p> <p>●まんが本「(仮称)福山を知ローゼ」の制作 郷土ふくやまに関心を持ち、手軽に、面白く、理解を深めるため、全国に誇れる郷土の歴史上重要な人物などをテーマとした物語をまんが化し、出版します。</p>
2011年度(平成23年度)計画	<p>環境学習推進校は、次のことを取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●地球温暖化防止及び3R(廃棄物の発生抑制, 再使用, リサイクル)並びに地域の特性を活かした地球環境の保全に関する学習や活動の実践を、保護者や地域と協働して実施する。 ●地域住民の環境に対する意識を高めるため、校区内のごみステーション又は公共施設等へ掲示する環境の保全に関するポスターを作成して、地域のまちづくり推進委員会や自治会等と連携して掲示する。 ●地球環境の保全に関する出前講座等を公開授業(参観日)として実施する。 ●学校行事及びPTC行事等に地球環境の保全に関する内容を導入する。 ●その他、児童、生徒が提案する環境にやさしい取組を実施する。 	<p>●まんが本「まんが福山の歴史」(改訂版)を小学校5・6年生の各学級及び特別支援学級へ配布</p> <p>●まんが本「(仮称)福山を知ローゼ」の制作について、物語の企画立案から脚本の決定まで行う。</p>
(予算額:千円)	620	2,989
備考(特記事項)		
担当課	環境啓発課	文化課